

令和6年度

大潟村の教育



大潟村教育委員会

大潟村 村民憲章

私たちは、世紀の干拓によって誕生した新生の大地にあいつどい、
理想の村づくりをめざす大潟の村民です。

この村に生きる喜びと誇りを持ち、連帯と協調によって、
真に豊かで住みよい郷土の建設と発展を願い、この憲章を定めます。

- 一. 水と緑の自然をそだて、美しく住みよい村をつくりましょう。
- 一. 心とからだをきたえ、健康で明るい村をつくりましょう。
- 一. はたらくことに誇りと意欲を持ち、豊かな村をつくりましょう。
- 一. 教育と文化を高め、生きがいのある村をつくりましょう。
- 一. 家族をいたわり郷土を愛し、心のかよう村をつくりましょう。



大潟村の村章 (昭和44年7月1日)

大潟村の「才」を図案化したもので、
限らない村の躍進を象徴しています。

図案者／秋田市 鈴木晴夫氏



予測困難な社会を切り開く力を ～ICT教育の推進について～

大潟村教育委員会

教育長 三 浦 智

今年の大潟村で行われた入園、入学式はこれ以上ないほどの晴天に恵まれ、令和6年度の門出を爽やかに祝福されながら、大潟村の学校教育がスタートしました。

さて、平成29年に改正され、令和2年度（中学校は3年度）から実施された現行学習指導要領は既に5年目に入ろうとしています。学習指導要領は10年に1度ずつ見直しされていますからほぼ半分を過ぎようとしています。この間、世界中を襲った新型コロナウイルスの脅威は学校教育にも大きな影響を与えました。突然の休校に見舞われるなどのマイナスな面が大きかったのは言うまでもありませんが、一方でGIGAスクール構想（令和元年からスタート）は一気に進み、また学校行事縮小などの対応から教員の働き方改革の一端に寄与したプラスの面もありました。

大潟村では、平成26年に行った「産学官による普通教室でのICT活用実証研究」を元に、いち早く一人に一台のタブレットを準備し、校内のWi-Fi環境を整え、いつでもトラブルに対応できるようICT支援員を配置して、GIGAスクール構想実現のために環境整備をして参りました。

そうした環境の中、大潟中学校は令和3年度から県教育委員会指定「ICTを活用した授業改善支援事業」を受け、大潟小学校はその協力校として共に研究を3年間進めてきました。昨年度、大潟中学校は県内の中学校に向けて公開授業を実施し、県教育関係者を始め多くの中学校教員にこれまでの実践を認めていただき、成果を県内に広めることができました。また、保護者の理解と協力もあり、タブレットの毎日の持ち帰りも中学校では早くに実施しており、タブレットが既にノートや鉛筆のように文房具の一つになりつつあります。

大潟村教育委員会では、国で示している「令和の日本型学校教育」の実現に向けて、これまでのICT教育の取組を元に、大潟村らしい個別最適な学びと協働的な学びができるようにしていきます。この学びは、一人ひとりの児童生徒が自分の良さや可能性を認識するとともに、他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開くことにつながります。まさに大潟教育のめざす創造と進取の気概に富む子ども、つまりは大潟村のアイデンティティー「開拓者精神」をもつ子どもに育つこととなります。

大潟村の子どもたちが大きな夢を抱いて多様な活動を自ら求め積極的に展開できるよう、これからも学校、家庭、地域が連携して教育環境を整えてまいります。今後とも本村の学校教育に対する皆様の一層のご協力とご理解をお願いいたします。

目

次

○ 予測困難な社会を切り開く力を～ICT教育の推進について～

教育長 三 浦 智 … 1

I 教育目標

1. 子育て・教育の基本目標と推進計画	6
2. 大湊村の教育がめざすもの	8
(1) 大湊教育の目標	8
(2) めざす子ども像	8
(3) 豊かな自然の中で学びと育ちを確かにつなぐ「大湊村連携教育」	10
(4) コミュニティ・スクール（大湊村学校運営協議会）	12
大湊こども園	14
大湊小学校	16
大湊中学校	18

II 教育委員会の事業

1. 学校教育班	22
(1) 事務局	22
(2) こども園	23
(3) 小学校、中学校	24
(4) 学校給食	24
2. 生涯学習班	25
(1) 公民館	25
(2) 干拓博物館	29
(3) 体育館	31
(4) 施設・整備	33
(5) 各種委員会	34

III 生涯学習・社会教育施設

1. 大湊村公民館	36
2. 大湊村村民体育館	36
3. 大湊村村民テニスコート	37

4. 大潟村民野球場	38
5. 大潟村サブ野球場（サブグラウンド）	38
6. 大潟村多目的運動広場（愛称：ポルダープレーン）	39
7. 大潟村民相撲場	39
8. 大潟村多目的グラウンド（大潟村勤労者総合スポーツ施設）	39
9. 大潟村B&G海洋センター	40
10. 大潟村干拓博物館	41
11. 大潟村ボートセンター	42
12. 大潟漕艇場（公益社団法人日本ボート協会公認C級）	42
13. 大潟村水上スキー場	43

Ⅳ 各団体の活動・取り組み

1. 大潟こども園PTA	46
2. 大潟小学校PTA	47
3. 大潟中学校PTA	48
4. 大潟村青年会	49
5. 大潟村フレッシュミズ	50
6. 大潟村婦人会	51
7. 大潟村老人クラブ連合会	52
8. 大潟村耕心会	53
9. 大潟村子ども会育成連絡協議会	54
10. 大潟村高校生をもつ保護者の会	55
11. 大潟村芸術文化協会	56
12. 大潟村スポーツ協会	57
13. 大潟村スポーツ少年団	58
14. NPO法人スポーレおおがた	59
15. スポーツコミッションおおがた	60

Ⅴ 諸 資 料

1. 教育委員会	62
2. 生涯学習・社会教育委員等	62
3. 生涯学習・社会教育施設の利用状況	65
4. 大潟村生涯学習関係設置要項	71
5. バス研修事業費補助金交付要綱	75
6. 教育委員会事務分担表	77
○ 主要施設案内	81

大潟村民の歌

作詞 村上 一 榮
補作詞 村民の歌選定委員会
作詞 芥川 也寸志

一、あさやけの 湖うみひかる空そら
あたらしく 燃もえる大地だいちよ
おおいなる 世紀せいきのわざに
鳥とりうたい 四季しきの花はな咲さく
ああ ひらけゆく大潟おおがたに
いぶきの声こゑが あふれくる

二、ささやけば みどり色の風かぜ
湧わきおこる たがやしの音ね
語りかたつぐ 伝説でんせつの地ちに
みのる穂ほの 波なみはてしなく
ああ ゆたかなる大潟おおがたに
のぞみの歌うたが ひろがりぬ

三、いろどりの 虹にじ染そめる屋根やね
むすび合あう 腕うでとこころと
永遠えいえんの この土つちの香かに
ほこりある 村むらをきずかん
ああ かがやける大潟おおがたに
みらいの夢ゆめが きこえくる

作詞の村上 一 榮氏は、大潟村第三次入植者であり、
第三十八回（平成十八年）秋田県芸術文化章受章者

大潟村教育委員会

教育長	三 浦 智
教育長 職務代理者	森 本 哲 哉
委 員	宮 崎 和 子
委 員	清 塚 砂 恵 子
委 員	桑 原 康 成

I

教 育 目 標

1. 子育て・教育の基本目標と推進計画
2. 大潟村の教育がめざすもの



1. 子育て・教育の基本目標と推進計画

「地域で子どもを育て、開拓者精神を受け継ぎながら 地域内外と交流し成長する村」

社会状況やライフスタイルの変化や個々のニーズがより多様化するなかで、村民が郷土を愛し、地域外の人たちとも交流を深めてお互いに学び合うことが求められています。特に、子どもたちが成長しても故郷を愛し、大事にしたいと思えるような子育て、教育が必要となってきます。これまで培ってきた大潟村の開拓者精神を村民が受け継ぎながら次世代に伝えていくとともに、様々な関わりを通じて子どもの生きる力を育むため、地域全体で人づくりを進めていきます。

安心して子どもを産み育てられる環境の構築

医療や福祉などとの連携を強化し、次世代を担う子どもたちを安心して産み育てやすい環境づくりを構築します。そして、家庭・こども園・学校・行政・地域との連携を強化し、仕事・家庭・教育のバランスのとれた子育ての環境づくりや地域ぐるみで子どもの育ちをサポートする体制づくり、子育て世代同士の交流を推進します。また、子育てに対する悩みや課題を共有し、助け合える関係づくりを行います。

- ① 妊娠・出産への支援体制の充実と情報発信の強化
- ② 子育てにおける保健・医療・福祉・教育などのネットワークの充実
- ③ 様々なニーズにあった教育・保育利用の充実、支援体制の構築
- ④ 子育て世代の交流機会の創出と子どもの遊び環境の整備
- ⑤ 認定こども園と地域が支える子育て制度の充実
- ⑥ 家庭・こども園・学校・行政・地域の連携の強化

夢と希望を持ち、可能性に挑戦するひとを育む教育の推進

これまでの学校教育の中で育まれてきた「生きる力」やその中で重視されてきた知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）の育成の意義を改めて捉え直し、夢と希望を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成するため、幅広い教育活動を通じて、一人ひとりの「可能性とチャンス」を具現化できるように取り組みます。

また、地域の資源を活用しながら、子どもたちの学びや育ちに地域が積極的に関わるとともに、その活動を通して学校も地域の行事に関わることにより、地域が人を育て、人が地域をつくる好循環をつくります。

- ① 園・小・中連携による教育の推進
- ② 国際化に対応する国際理解教育の推進
- ③ 村の自然を活かした体験活動の推進
- ④ 地域人材を活かした幅広い学習活動の推進
- ⑤ 地域とともに歩む学校づくりを目指したコミュニティ・スクール体制の推進
- ⑥ 地域食材を用いた食農教育の推進
- ⑦ ICTを活用した教育の推進

※コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域のみなさんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ協働することで、子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

地域を担う人を育む生涯学習の充実

地域の人材育成を目的に、「村民の集いと交流」を促すことを目的にした趣味・教養の学級・講座などの生涯学習を効果的に実施し、村民の相互交流をさらに深めるとともに、日常の学習活動を具体的な課題解決へと発展させていく体制を整えます。また、村民が主体的に芸術文化活動に参加できるよう支援し、心豊かな地域づくりを進めます。

また、生涯学習施設の利便性の向上についても検討していきます。

- ① 地域の歴史、文化、産業及び生活を学ぶ機会の充実
- ② 地域住民が中心的な役割を果たす学習機会の充実
- ③ 生涯学習奨励員、指導者の計画的な育成と発掘
- ④ 子どもたちの地域活動への参加促進
- ⑤ 生涯学習施設の利便性の向上

健康とコミュニティを育む生涯スポーツの充実

元気な村づくりを進めるため、村民がスポーツに親しみ気軽にできる生涯スポーツを推進し、村民の健康増進とコミュニティの充実を図ります。また、スポーツ施設関連では、村民体育館をはじめ各施設の老朽化が進んでいることから、その計画的な整備に努め、スポーツ施設の利便性の向上を図ります。

また、中央幹線排水路を活用したボート競技や水上スキー競技は全国屈指の良好な競技環境にあり、国際大会や全国レベルの大会が開催されています。今後、合宿地としての環境や施設を活用し、スポーツ合宿誘致を行うなど、地域活性化を図っていきます。

- ① スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブとの連携と活動支援
- ② スポーツ・健康づくり機関との協働による健康増進事業の推進
- ③ スポーツ推進委員・指導者の育成と発掘
- ④ スポーツ施設の計画的な補改修と備品の整備・有効利用の促進
- ⑤ スポーツ合宿等の誘致により地域活性化を図る組織(スポーツコミッションおおがた)の活動支援

干拓博物館の多面的活用と効率的運営

村民との協働で「歴史・農業・自然環境・芸術文化」の企画展示と、参加体験型の「博物館教室」を継続して開催していきます。また、男鹿半島・大潟ジオパークの普及啓発に取り組んでいくとともに、ジオパークの拠点施設として地域教育への貢献と情報発信力の強化を図ります。このような事業・行事を通して今後もより多くの方に大潟村を訪れてもらうことを目指します。

一方で、施設や設備が年々老朽化してきており、施設の計画的な補改修について計画を立てて検討します。

- ① 歴史、農業、自然環境、芸術文化に関する情報発信
- ② 魅力的な企画展示事業・教育普及事業の充実
- ③ 案内ボランティアの活動支援
- ④ 男鹿半島・大潟ジオパークの推進と情報発信
- ⑤ 常設展示や展示機器類の更新
- ⑥ 施設の計画的な補改修を含めた維持管理

2. 大潟村の教育がめざすもの

「第2期大潟村総合村づくり計画」の〔施策の方針2〕には「夢と希望を持ち、可能性に挑戦するひとを育む教育の推進」を掲げています。

大潟村の教育においては、教育を通じて個人の可能性を開花させ、一人ひとりが夢や目標を持って積極的に行動し、主体的に社会に参画していくための力を育成します。そして、自信を持って自分の可能性に挑戦することができる、たくましい子どもたちの育成を地域ぐるみで支えます。

(1) 大潟教育の目標

豊かな自然とともに いのち輝かせ
未来に向かって 大きく羽ばたく
大潟村の子どもを育てる 大潟教育の推進

こども園・小学校・中学校のそれぞれが、1園・1校で編成されている大潟村の学校園は、村の特色を生かした体系的で連携した教育を実践することにより、「可能性に挑戦する人」の育成に向けて、大きな成果を生みださせるような、好ましい構造になっています。

子どもたちは、大潟村の豊かな自然に浸り、学び、理解し、守りつないで、共存していきます。その過程で、自らの個性に気づき、磨き上げ、伸ばし、感性豊かに一生懸命生きることによって、素晴らしい未来へと運ばれていくことを自覚させたいと考えています。

大潟村に生まれ、大潟村で育って、大潟村のアイデンティティを持った子供たちは、大きな夢を抱き、未来へ向かって力強く挑戦していくたくましさを身に付けて育ってほしいと願っています。

(2) めざす子ども像

- 心豊かにたくましく 確かな学力を身に付けた子ども
- 夢膨らませ 未来を切り拓く 個性輝く子ども
- 「ふるさと大潟」を愛し 創造と進取の気概に富む子ども

① 心豊かにたくましく 確かな学力を身に付けた子ども

変化の激しいこれからの社会を生きるためには、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むことが重要となります。

とりわけ、その知的側面である「学力の育成」については、基礎的な知識・技能を修得させ、それらを活用しての課題の設定や、その解決のための思考力、判断力、表現力等の

育成も必要でありますし、更に様々な学習に向けて主体的に取り組み、解決しようとする学習意欲を育て、「確かな学力」へつなげていきます。

また、自らを律しつつ、他とともに協調し、他を思いやり、温かな人間関係や感動する心などの「豊かな心（人間性）」は、特に重要視していきます。そして、心身のたくましさや、心身の健康の保持・増進はもとより、「食」や「安全」を学び、体力も向上させる努力が大切です。こうした健全で主体的な「生き方」そのものを支える「心のたくましさ」を育てることを重視していきます。

② 夢膨らませ 未来を切り拓く 個性輝く子ども

子どもは、無限の可能性を秘めた存在です。昔からよく言われてきたことではありますが、一人ひとりの内に眠る良さや可能性は、流れに任せていては大きく育ちません。しかし、子どもが一旦自らの良さや可能性に気づくと、それにこだわって磨いていくうちに、自分のやりたいことを追求していこうとする意志が芽生え、動き出します。こうした自覚を促すために、幼児期の早い時期から、個性を引き出すことと、伸ばすことに配慮した指導を行い、自分の夢に向かって未来を切り拓き、創り上げていくたくましい子どもに育ててまいります。

③ 「ふるさと大潟」を愛し 創造と進取の気概に富む子ども

ふるさとの充実・発展に向けて、進取の気概をもち、「ふるさとの創造」に立ち向かい、大潟村に住む人々の「絆」を強固なものにし、未来へと引き継ぐ役割を担う人材の育成は、「大潟教育」の重要な課題です。

「ふるさと意識」は、人から人へと伝わるものです。豊かな自然や文化に対する思いは、先人や家族などの接し方や楽しみ方を見ることによって感化され、自分の中のイメージが明確になっていきます。先人や周囲の人々の「ふるさと愛」を発揮する姿を見て、子どもたちに豊かな感性が育つのです。そのために、「ふるさと大潟」を深く知るための学習を進めてまいります。

◆三校園共通のキャッチフレーズ 「熱く 羽ばたけ 大潟っ子」

「大潟村の子どもたちは、素直で真面目。そして、いつも仲良し。」と言われていますが、「やや、消極的である。」とも指摘されています。「確かな学力」を身につけるにしても、「豊かな個性」を発揮するにしても、心を開いて主体的に立ち向かわなければ、何事もスタートしません。

大潟村の子どもたちには、いかなる場面においても、自らの可能性を求めて積極的に挑戦してほしいと願っています。こうした願いのもと、「熱く羽ばたけ大潟っ子」という三校園共通のキャッチフレーズを提示し、子どもたち全員が意欲的に、情熱的に、毎日を生きるよう促し続けていきます。

(3) 豊かな自然の中で学びと育ちを確かにつなぐ「大潟村連携教育」

「連携教育」とは、同じ目標に向かって連絡を取り合い、協力し合って教育することです。この『大潟村連携教育』は、「大潟村のめざす教育（目標等）」を確認し合い、「めざす子ども像」に向けて、こども園から中学校までの全教職員が力を合わせて教育活動にまい進するものです。

園・小・中の違いはあっても、子どもは連続して育ち、学び、成長していくものですから、「連携教育」の効果的な実践にあっては、教職員は校種の枠を超えて、子どもたちのより良い成長のために、積極的に情報交換や指導方法の改善に努めなければなりません。

「大潟村連携教育推進計画」に基づき、三校園全体の「貫く柱」を確認し、効果の検証を重ねながら、指導体制の吟味と改善を行います。（平成23年度策定）

【大潟村連携教育の具現化の方途】

- ① 「大潟村教育委員会のめざす教育」を、学校や園の「経営の柱（概要）」に取り込み、同じ方向を向いての教育を展開します。（大潟教育の「心柱」構想）
- ② 「大潟村の豊かな自然」を学習材に取り込み、授業で扱います。そのことによって、学習意欲の喚起や思考力の向上を図り、合わせてアイデンティティの醸成に努めてまいります。（カリキュラムの大潟村バージョン化）

◎連携の3重点

全校園の教職員が同じ視点をもって、計画・実践・評価・改善のサイクルを経ながら、常に指導の質的改善を図っていくというプロセスが『大潟村連携教育』を充実させていくものと考え、連携の3重点をセットしました。

この「学び」・「育ち」・「心」の3重点を、各校園の経営の柱（経営の重点）に「共通実践事項」として取り込みます。

- | | |
|-------------------|--|
| 1 「学び」の3項目 | ① 「考える力」の育成
② 「表現力」の育成
③ 「意欲的に学ぶ態度」の育成 |
| 2 「育ち」の3項目 | ① 「規範意識」の醸成
② 「健康・安全意識」の醸成
③ 「主体的な行動力」の育成 |
| 3 「心」の3項目 | ① 「優しい心」の育成
② 「たくましい心」の育成
③ 「ふるさとを愛する心」の育成 |

授業研究会や研究協議の際に、共通の視点として協議が可能になりますし、大潟村の子どもたちの未来を語る際においても、保護者や村民との協議で、話題にすることができます。

◎大潟村の豊かな自然を学習材に取り込んで（感性を刺激し、主体的に学ばせる）

体験（感動体験）

感性

- 心と知に働く感性
- 価値にかかわる能動的で創造的な能力

《自然のささやきを聴こう・命との対話》
 命の営み、不思議や神秘、
 美しさや面白さ、
 厳しさや温かさ、
 感動や恵みが、
 見えてくる。



① 興味を持つ 感動的出会い

② 観察する 知的好奇心をもつ

③ 調べる 探求する

④ 知る イメージをもつ

⑤ まとめる 自分なりの考えをもつ

知性

○活性化する
 ※「知」を活用する力が増す
 《自分の実感で感じ取って知る》
 感性によって発動される好奇心、
 想像力をもって観察し、気づき、
 本当に分かる。

遊び

学び

大潟村の豊かな自然を学習材に取り込んで（感性を重視した確かな学びの構築）



現3年生 公開授業（道徳）

小学校



現6年生 さつまいも掘り（こども園との交流）



学級宣言

中学校



ICT公開授業

(4) コミュニティ・スクール（大潟村学校運営協議会）

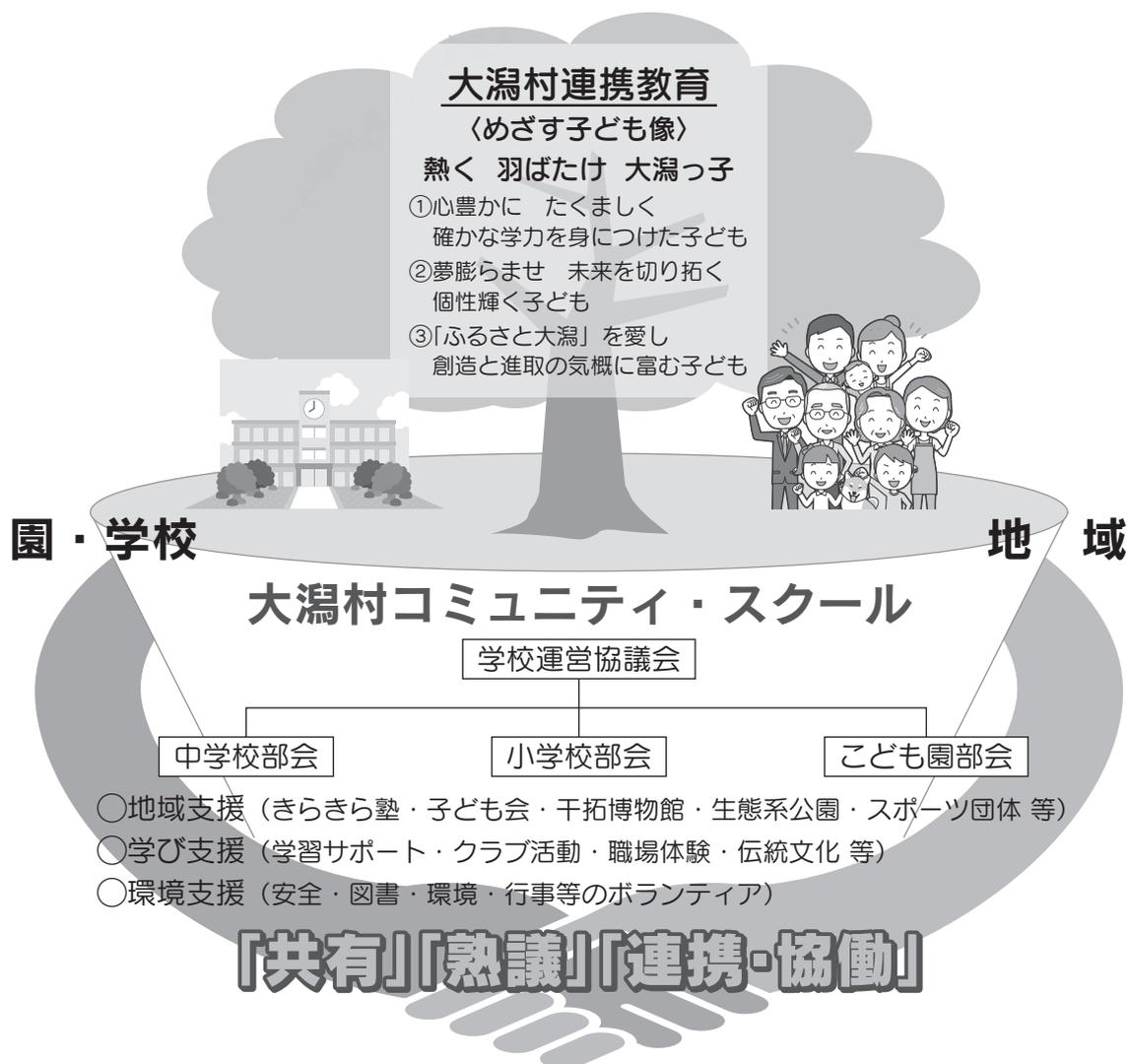
コミュニティ・スクールとは、学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組むことで、地域の特色ある学校づくりを目指すことを目的とした「学校運営協議会」が設置されている学校のことをいいます。

大潟村では「大潟村連携教育を支えるコミュニティ・スクール」を大きなテーマに掲げ、連携教育の実践により培ってきた、こども園、小学校、中学校の親和性を活かし、三校園で一つの学校運営協議会を設置しています。

既に充実した活動が展開されている地域人材学習支援事業等、これまでの地域住民による学校支援活動の取り組みを活かし、地域が園・学校を盛り上げ、元気な園・学校が地域を活性化し、好循環サイクルを目指します。

大潟村連携教育を支える コミュニティ・スクールの推進

～地域ぐるみで子どもの「学び」・「育ち」・「心」を支えます。～





激励会



ミニバスケットボール大潟カップ



わくわく給食会

2年職場体験



総合全体発表会

バスケットボール講習





○ 大潟村連携教育





主な年間行事



4月	・始業式 ・入園・進級式、入園のついで ・クラス懇談会、PTA総会 ・お里帰り交流（園小交流）	8月	・みんなの会 ・身体測定	12月	・なかよし発表会 ・お楽しみクッキング ・クリスマスお楽しみ会
5月	・こどもの日お楽しみ会 ・さつまいも苗植え、眼科健診 ・内科健診、身体測定	9月	・はなしっこ ・親子ふれあい運動会 ・バス遠足（5歳児）	1月	・おもてなしお茶会 ・はなしっこ ・新入園児、進級児保護者説明会
6月	・歯科健診、耳鼻科健診 ・はなしっこ・いちご摘み ・表現遊びを楽しもう ・親子花植え、歯磨き教室、講習会 ・個人面談（～7月）	10月	・いもほり（園小交流） ・ふれあい消防 ・りんご狩り（5歳児） ・お茶会（5歳児） ・バス遠足（3・4歳児）	2月	・新入園児内科検診 ・みんなで遊ぼう！わくわくこども園 ・人形劇 ・親子園舎清掃、クラス懇談会 ・大きくなったねお楽しみ会
7月	・福祉運動会・はなしっこ ・お楽しみクッキング	11月	・球根植え、保育参観・参加 ・お茶会（5歳児）	3月	・ひなまつりお楽しみ会 ・卒園式 ・修了式



学級編成（4月1日現在）



クラス名		ひよこ	りす	うさぎ	にじ	ほし	つき	合計
年齢		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
園児数	男	2	4	3	9	8	10	36
	女	0	4	5	11	7	8	35
	計	2	8	8	20	15	18	71



職員一覧



職名	氏名	クラス担任・職務分担
園長	長 浜 中	こども園の総括、園舎等管理運営、こども園事務及び安全に関すること、教育計画、安全管理、国公立幼稚園・こども園関係、保育協議会、国公立幼稚園PTA等
主査保育教諭	庄 司 真紀子	未満児主任、0歳児担任、教育保育計画、諸表簿、大潟村連携教育、こども園PTA関係、給食指導、特別支援コーディネーター等
主任保育教諭	田 中 友 美	総務、備品管理、教材管理、組織運営、諸表簿、こども園PTA関係、保育指導、環境構成、特別支援コーディネーター、関係団体、図書指導等
主任保育教諭	三 浦 豪 祥	2歳児担任、防犯指導、園内研修、給食指導、新年度保育用品等
主任保育教諭	齊 藤 真優子	以上児主任、3歳児担任、教育保育計画、給食指導、保健・衛生指導、学籍、新年度保育用品、特別支援コーディネーター等
主任保育教諭	白 石 芳 高	5歳児担任、園行事計画、給食指導、防火・防災指導等
主任保育教諭	佐々木 香代子	1歳児担任、教育保育指導、給食指導、安全指導等
保育教諭	今 野 菜々香	4歳児担任、給食指導、交通指導等
保育教諭	田 中 礼 子	1歳児担任、交通指導
保育教諭	栄 田 美智代	0～5歳児担当、交通指導
保育教諭	加 藤 康 子	0～5歳児担当、防犯指導
保育教諭	工 藤 彩 香	一般型預かり保育に関すること、防犯指導
保育教諭	伊 藤 明 子	3歳児担任、給食指導、防火・防災指導
保育教諭	川 井 唯	幼稚園型預かり保育に関すること、防犯指導
保育教諭	館 岡 麻 耶	0～5歳児担当、保健・衛生指導、視聴覚・図書指導
保育教諭	尾 倉 尚 子	2歳児担任、給食指導、防火・防災指導
保育教諭	伊 藤 正 子	0～5歳児担当、図書指導
保育教諭	北 嶋 真紀子	一般型預かり保育に関すること、保健・衛生指導、視聴覚・図書指導
保育教諭	鴨 田 亜 紀	0歳児担任、保健・衛生指導
保育教諭補助	江 畠 明 美	4歳児保育教諭補助、交通指導
保育教諭補助	納 谷 和 代	0～5歳児担当、防火・防災指導
保育教諭補助	鎌 田 麻友子	0～5歳児担当、視聴覚・図書指導
保育教諭補助	小助川 恵 子	0～5歳児担当、交通指導
生活支援員	菊 池 聖 子	4歳児生活支援に関すること、防犯指導
生活支援員	東海林 恵理奈	3歳児生活支援に関すること、図書指導
子育て支援員	金 丸 美 樹	子育て支援センター、視聴覚・図書指導
子育て支援員	小 林 京 子	子育て支援センター、保健・衛生指導
栄養士	栗 森 ルリ子	給食に関すること
用務員	大 澤 俊 博	園舎等・管理運営、環境、安全（点検）指導、防火・防災・防犯指導、防災防火管理者
事務員	久 能 恵 理	事務全般

学校経営の概要



主 な 年 間 活 動

月	主要行事	月	主要行事	月	主要行事
4月	・新式・始業式 ・入学式 ・春の交通安全運動 ・交通安全教室 ・校外児童会 ・1年生を迎える会 ・6年相模教室 ・PTA総会	6月	・5年自然教室 (あきた白神体験センター)	11月	・全校漢字テスト② ・5年収穫感謝祭 ・2年校外学習(はちパル) ・3年校外学習(五城目警察署)
	5月	・PTA役員会 ・菜園活動(苗植え) ・5年田植え ・交通安全教室	7月		・6年修学旅行(仙台市等) ・芸術鑑賞教室 ・PTA授業参観・学年懇談 ・校外児童会 ・1学期終業式 ・夏季休業(7/23~8/24) ・個人面談(児童・保護者)
6月		・避難訓練(地震) ・運動会 ・歯磨き教室 ・全校漢字・算数テスト① ・人権の花 苗植え ・給食試食会 ・1年校外学習(大森山動物園) ・2年校外学習(GAO) ・4年校外学習(クリーンセンター他)	8月	・2学期始業式 ・夏休み作品展	1月
	9月		・避難訓練(地震・火事) ・安心・安全教室(スマホ・ケータイ安全教室) ・3年校外学習(寒風山他) ・5年稲刈り ・秋の交通安全運動 ・6年校外学習(安田海岸)	2月	
	10月		・マラソン大会 ・学習発表会		3月
	11月		・5年校外学習(さががけ・NHK) ・4年校外学習(大瀧村排水機場)		

学級編制(学級、学年別)

児童数	学年	1年1組	2年1組	3年1組	4年1組	5年1組	6年1組	2・3年・5年 たんぼぼ	2・3年 ひまわり	2年 さるびあ	合計
	男	11	10	14	8	12	21	1	1	1	79
女	8	9	5	8	7	10	2	1	0	50	
計	19	19	19	16	19	31	3	2	1	129	

職 員 等 一 覧

職名	氏名	校務担当	学級担任	教科等主任	児童委員会	本校在職
校長	加賀谷 久志	管理運営全般 大瀧村連携教育				0.1
教頭	伊藤 昌人	校務全般 特別支援教育コーディネーター CS				0.1
主事	池田 真菜美	学校事務全般 庶務・財務 教科書				2.1
養護教諭	鳥井 京子	保健主事 保健管理 清掃指導			保健体育	1.1
栄養教諭	池内 るみ子	給食全般 給食主任 食育推進			給食	3.1
教諭	石井 太	図書館教育	2・3・5年たんぼぼ	総合	図書	1.1
教諭	淡路 浩昭	キャリア教育 環境・菜園活動	2年さるびあ	国語	環境美化	0.1
教諭	菅原 和佳子	研究主任 理科専科	中学団主任	理科	放送	3.1
教諭	門岡 淳	教務主任 特別支援教育コーディネーター	高学団主任			9.1
教諭	島崎 浩子	道徳主任 道徳教育推進教師	2年1組(低学団主任)	生活、道徳	給食	4.1
教諭	佐藤 淳	生徒指導主事 連携教育(小中)	6年1組	外国語	環境美化	7.1
教諭	鈴木 正紀	学習指導 TT主任 芸術鑑賞	4年1組	社会	放送	2.1
教諭	伊藤 文恵	特活主任 児童会担当	5年1組	音楽、家庭	計画	3.1
教諭	日沼 謙公	体育主任(運動会・新体力テスト) 連携教育(園小)	1年1組	体育	保健体育	1.1
臨時講師	船木 牧子	学校文集	2・3年ひまわり	図工	図書	0.1
臨時講師	畠山 光	クラブ活動 ICT教育(プログラミング学習)	3年1組	算数	計画	1.1
支援員	門脇 令子	学習生活サポート				2.1
支援員	三浦 秋帆	学習生活サポート				5.1
支援員	佐々木 広美	学習生活サポート				0.7
支援員	工藤 沙織	学習生活サポート				0.1
支援員	大石 康子	学習生活サポート				0.1
ICT支援員	三浦 鏡美	ICT活用サポート(小中兼務)				3.1
メディア支援員	児玉 昌子	図書館教育サポート				1.1
校務員	岡山 一彦					0.1
事務員	鈴木 けさみ					3.1
村非常勤講師	フライン・アルストロム					19.1
コーディネーター	今野 いずみ					6.1

学校経営の概要



主な年間行事

月	主要行事	月	主要行事	月	主要行事
前 期	4月	前 期	8月	後 期	12月
	5月		9月		1月
	6月		10月		2月
	7月		11月		3月
	<ul style="list-style-type: none"> ・新形式、1学期始業式 ・入学式 ・新入生歓迎会 ・PTA・部活動後援会総会 ・全国学力・学習状況調査 ・交通安全教室 ・前期生徒総会 ・市郡春季体育大会 		<ul style="list-style-type: none"> ・2学期始業式 ・1、2年課題テスト 		<ul style="list-style-type: none"> ・県学習状況調査 ・第3回定期テスト（1、2年） ・PTA授業参観日 ・アンサンブルコンテスト中央地区大会 ・球技大会 ・2学期終業式 ・冬季休業（12/26～1/13）
	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労体験活動 ・体育祭 ・校外学習（1年） ・宿泊体験学習（2年） ・修学旅行（3年） 		<ul style="list-style-type: none"> ・大瀧村防災訓練 ・大中祭 ・市郡秋季体育大会 ・第2回定期テスト ・中央教育事務所長訪問 		<ul style="list-style-type: none"> ・3学期始業式 ・総合学力調査（1、2年） ・三者面談（3年）
	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動強調期間（6/3～17） ・フロンター、学校菜園作業 ・総合学力調査（全学年） ・市郡総合体育大会 ・第1回定期テスト 		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員選挙 ・生徒会役員任命式 ・地域企業ガイダンス ・後期生徒総会 		<ul style="list-style-type: none"> ・ソロコンテスト中央地区大会 ・新入生入学説明会 ・学年末PTA ・第4回定期テスト（1、2年） ・3年生を励ます会
	<ul style="list-style-type: none"> ・ポート体験 ・吹奏楽コンクール中央地区大会 ・PTA授業参観日 ・教科等訪問 ・地層観察（1年） ・職場体験学習（2年） ・県総合体育大会 ・PTA給食試食会 ・1学期終業式 ・夏季休業（7/23～8/24） ・三者面談 		<ul style="list-style-type: none"> ・開校記念日 ・二者面談（1、2年） ・三者面談（3年） ・座禅教室（3年） ・第3回定期テスト（3年） ・同窓会講話会 ・村連携教育公開研究会 		<ul style="list-style-type: none"> ・公立高校一次募集学力検査日 ・同窓会入会式 ・卒業証書授与式 ・修了式 ・春季休業（3/22～4/3） ・離任式

学級編制（学級、学年別）

生徒数	学年	1年A組	2年A組	3年A組	3年B組	合計
	男	11	15	13	1	40
	女	13	15	9	0	37
	計	24	30	22	1	77

職員等一覧

職名	氏名	学年担当	教科担当	校務分掌	部活動	本校在職	住所
校長	小玉克男			校務全般総括		1.1	大瀧村
教頭	小野貴幸		数 学	校務全般、PTA、部活動後援会、特支コーディネーター		2.1	八郎潟町
主任主査	安藤誠子			学校事務、庶務、財務全般、教科用図書		0.1	男鹿市
養護教諭	田中あき子			健康管理、保健指導、教育相談	※ ポート	3.1	三種町
教諭	須藤朋子	1年所属	保 体	教務主任、連携教育	剣 道	0.1	八郎潟町
教諭	一関隆則	1年主任	理 科	総合主任、環境教育	野 球・卓 球	0.1	五城目町
教諭	工藤育子	1A担任	音楽・家庭	給食主任	吹 奏 楽	2.1	五城目町
教諭	京谷明仁	2年主任	国 語	生徒指導主事、キャリア教育	野 球	2.1	男鹿市
教諭	黒田有琳子	2A担任	数 学	特活主任、部活動総括、生徒会	卓 球	1.1	男鹿市
教諭	進藤 恵	2A副担任	英 語	道徳教育推進教師	バレーボール	0.1	潟上町
教諭	池玉幸子	3年主任	英 語	研究主任	吹 奏 楽	0.1	五城目町
教諭	尾樽部圭介	3A担任	社 会	進路指導主事、情報教育、生徒会	バレーボール	2.1	秋田市
教諭	小林博子	3B担任	美術・特支	特別支援教育コーディネーター、保健主事	水 泳	1.1	八郎潟町
非常勤講師	鈴木正寿	全学年	技 術	技術科の教科指導		11.1	秋田市
スクールカウンセラー	松淵聡子			教育相談		2.1	秋田市
ALT	ジョン・ルパウスキー	全学年	英 語	英語科のTT指導、国際理解教育		0.8	大瀧村
支援員	田口雄大	1年		生徒の学習や生活の支援		4.1	大瀧村
支援員	鈴木恵子	2年		生徒の学習や生活の支援		0.1	大瀧村
支援員	平塚千春	3年		生徒の学習や生活の支援		2.1	男鹿市
校務員	佐々木重義			校舎・校地管理		1.1	五城目町
事務員	千田さとみ			校務補助、ホームページ管理		8.1	五城目町
学校医	岩村文彦	大瀧村診療所					
歯科医	河田輝彦	かわた歯科医院					
薬剤師	寺門早弥香	共創未来 八郎潟薬局					



家庭教育学級「トイプードル巻き寿司」



きらきら塾「えいごであそぼう！」



きらきら塾「人形劇」



小学校へ読み聞かせ



きらきら塾「切り絵教室」



きらきら塾「クリスマスデコレーション」

Ⅱ

教育委員会の事業

1. 学校教育班
2. 生涯学習班



親子ふれあい運動会（かけっこ）



田んぼの生きもの観察会



きらきら塾「登山」



きらきら塾「ハロウィンパーティー」

1. 学校教育班

(1) 事務局

保育や教育の改革・多様化に対応し、大潟村の保育及び教育を総合的に検討するとともに、多様な交流活動・体験活動の推進及び教育施設等の整備充実を図る。また、児童生徒の安全確保に努める。

事業名	事業内容
英語教育推進事業	小学校では英語講師による英語支援プログラムを実施。中学校ではALTとともに英語授業を行い、英語力の向上を図る。
学校園建物総合管理事業	こども園、小学校、中学校の清掃、遊具保守点検、水質検査等の総合的な管理を行い、学校施設の衛生保持と安全を図る。
学習生活支援員配置	特別支援が必要な児童生徒に対し、学習生活支援員を配置して一人一人の実態や保護者の願いに応じたきめ細やかな支援に努める。
大潟村連携教育推進事業	個々に応じた指導体制の推進を図り、こども園から中学校までの一貫した教育を提供する。 ・大潟村連携教育推進協議会の開催 ・公開授業研究会の開催
地域人材活用事業	園・小・中学校と学習サポートコーディネーターとが連携し、園・小・中の要請に応じ、地域の人材を授業や学校行事に活用する。子どもと地域住民とのふれあい活動を通じて、子どもたちの豊かな人間性を育む。
放課後児童クラブ事業	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後の適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。
こどもなかよし館事業	児童のための遊び場を開放し、健全な遊びを通して児童の集団及び個別指導を実施する。
在宅子育て支援事業 (大潟村在宅子育て応援商品券)	2歳児までの子どもを自宅で養育する保護者を対象に商品券を交付し、在宅での子育てを応援する。
コミュニティ・スクール 推進事業	学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクール（CS）体制を継続実施する。学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組み、大潟村らしい特色ある学校づくりを目指す。
ICT教育推進事業	国のGIGAスクール構想の下に整備した、学校の児童・生徒1人1台タブレット端末を有効活用し、教科の学びを深める他、情報活用能力を育成する為、引き続き校内の環境を整備し、教職員への研修を実施する。
学校給食費の無償化	保護者の経済的負担の軽減を図り、子どもの健やかな成長と子育て支援の推進を目的に、小・中学校における学校給食費の無償化を実施する。
子ども・子育て推進事業	子ども・子育て会議や子ども・子育て関係者等から意見を聴取し、村民に寄り添った支援を検討するとともに、子どもや若者関連の各種計画を統合し「大潟村こども計画」を策定する。

(2) こども園

多様な子育てニーズに対応した子育て支援をし、子どもを生き育てやすい環境を整備する。

事業名	事業内容
①子育て支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター事業 ・一時預かり保育（一般型・幼稚園型） ・季節保育 ・未就園児への園開放（さくらんぼクラブ）
②こども園給食業務委託事業	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な給食を提供できる体制を確立し、安定的な給食運営を図る。
③保育料等の助成	<ul style="list-style-type: none"> ・「すこやか子育て支援事業」の対象園児に対し保育料を助成し、保護者の負担軽減を図る。 ・18歳以下の子どもが3人以上いる世帯すべての第3子以降の保育料及び給食費を無料とする。
④施設等整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭藤棚修繕 ・屋外デッキテラスドレン管修繕 ・消防車「かんとくん」塗装 ・管理用備品（お散歩カー等）整備

(3) 小学校、中学校

教育を取りまく環境の多様化に対応するため、学校教育の一層の充実を図るとともに、教育施設等の整備充実に努める。

事業名	事業内容
(小学校) ①施設等整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕（音楽室空調、ロスナイ送風機、ボイラー等） ・一般備品（掃除機、刈払い機）整備 ・教材備品（児童用図書、実物投影機、流水実験器等）整備 ・体育館暖房設備点検整備
②ICT教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学力調査（タブレットとドリルの関連づけ） ・学習支援ソフト「ミライシード」の活用 ・デジタル教科書等のデジタル教材の活用
(中学校) ①施設等整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕（多目的ホール暖房設備、図書室本棚増設） ・一般備品（職員用ロッカー）整備 ・教材備品（生徒用図書、家庭科用ミシン、電子てんびん等）整備 ・体育館暖房設備点検整備 ・校舎外階段防錆塗装 ・音楽室スピーカー設置 ・壁掛け扇風機設置
②ICT教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学力調査（タブレットとドリルの関連づけ） ・学習支援ソフト「ミライシード」の活用 ・デジタル教科書等のデジタル教材の活用
③総合的な学習推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習、宿泊体験学習等

(4) 学校給食

学校給食に大潟産の食材を提供し、地産地消の推進と食育教育を推進するとともに、給食調理を委託することで、安全で安心な給食を提供出来る体制を確立し、安定的な給食運営を図ります。

事業名	事業内容
共同調理場施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・備品購入（保温・保冷バットコンテナー、角型二重米飯缶）

2. 生涯学習班

(1) 公民館

家庭教育の一層の充実を図るとともに、生涯の各時期に対応する学習活動の支援と学習環境の整備に努める。

① 家庭教育の支援

子どもたちの健やかな成長と家庭教育の充実を図るため、情報の提供・相談活動に努めるとともに、学習機会の場を提供する。

事業名	事業内容	期日・場所
家庭教育学級	《乳幼児編》 子育てについて、アドバイスを受けたり情報交換をしながら、講師や受講者と一緒に子育ての大切さを学習する。	7月～2月 公民館ほか
	《小・中・高校編》 子育てについて、講師を囲んで学習したり移動研修等を行い、学級生同士が交流しながら子育てについて学べる場を提供する。	7月～2月 公民館ほか

② 子どもの地域活動の支援

文化活動や体験活動・スポーツ活動をとおして、子どもたちの生きる力を育み、心豊かでたくましい児童生徒の育成に努める。

事業名	事業内容	期日・場所
放課後子ども教室事業 (大湯村きらきら塾)	余暇の有効活用を促すため子どもたちに多様な体験活動の機会を提供し、様々な体験をとおして、子どもたちの豊かな人間性を育む。	〈別表1〉
冬季ふるさと祭り	冬季における伝承遊びや野外活動等のふれあいの場を提供し、各種団体との連携や協調を基に、地域作りの創出や異年齢層の交流を図る。	令和7年 2月2日(日) 村民体育館周辺

③ 「二十歳のつどい」の開催

二十歳の門出を祝し、成人としての心構えと自覚を持ち、良き社会人として活躍することを期待し、励ますことを目的として開催する。

月 日	事業内容	場 所
8月12日(月)	①対象者：平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの成人	ホテルサンルーラル 大湯

<別表1> 大潟村きらきら塾の事業

月	日	曜	内 容	時 間	場 所	担 当
6	8	土	きらきら登山	7:30~17:00	獅子ヶ鼻湿原 (にかほ市)	山 友 会
	15	土	炭 焼 き 体 験	10:00~	野球場玄関向かい	大潟村木炭水質浄化研究会
7	24	水	えいごであそぼう	14:00~15:30	公 民 館	森 田 千 尋 氏
	28	日	おおがたむらの いきものかんさつ	9:00~11:30	生 態 系 公 園	大潟の自然を愛する会
	29 ~ 30	月 ~ 火	キ ャ ン プ	8:00~	白神体験センター (八峰町)	子ども会育成連絡協議会
	下旬		切 り 絵 教 室	9:30~12:00	公 民 館	坂 本 み ほ 子 氏
8	1	木	工 作 教 室	9:30~11:30	公 民 館	生涯学習奨励員
	8	木	ス ケ ッ チ 教 室	9:00~11:00	干 拓 博 物 館	鎌 田 俊 夫 氏
	22	木	相 撲 教 室	10:00~12:00	大潟村相撲場	大潟村相撲連盟
10	19	土	ハロウィンパーティー	10:00~12:00	公 民 館	丹 野 あ す か 氏
11	3	日	理科教材であそぼう!	10:00~11:30	干 拓 博 物 館	大潟の自然を愛する会
	16	土	牛乳パックを使った リサイクルカード作り	10:00~12:00	村 民 セ ン タ ー	生 活 学 校
	23	土	クリスマスランタンをつくろう	10:00~12:00	公 民 館	大潟共生自然エネルギー
12	8	日	ス ケ ー ト 教 室	8:00~13:00	県立スケート場	子ども会育成連絡協議会
	14	土	七 宝 焼 き	9:30~11:30	公 民 館	七 宝 焼 同 好 会
	21	土	し め 縄 作 り	10:00~12:00	公 民 館	大潟村注連縄技術保存会
	28	土	ニ ュ ー ス ポ ー ツ	10:00~12:00	村 民 体 育 館	ス ポ ー ツ 推 進 委 員
1	18	土	お 茶 会	10:00~12:00	村 民 セ ン タ ー	裏千家お茶愛好会
	25	土	お 話 し ひ ろ ば	10:00~12:00	公 民 館	図書ボランティアコロポックル
3	1	土	人 形 劇	10:00~12:00	ふれあい健康館	人形劇同好会「八郎」

④ 成人期の課題に対応する学習機会の充実

多様な学習ニーズに応えるとともに、学習グループの自主運営を進め、仲間とともに学ぶ楽しさを多くの人が体験できるよう努める。

事業名	事業内容	期日・場所	
野菜ソムリエによる料理教室	野菜ソムリエなどの資格を持つプロによる料理教室	7月 村民センター	
「ぼくの世界はモノクロA4サイズ」	障がいのある子を持つ親としての子育ての話など	7月 公民館	
みんなでeスポーツを楽しもう！	eスポーツ対戦を楽しむ	7月 公民館	
イラスト塾	「とりっこフレンズ」作者から4コマまんがの書き方を学ぶ。子ども向け。	8月 公民館	
初めての手話教室	初心者のための手話教室	8月 公民館	
親子レジン教室	親子でアクセサリやキーホルダーを作る	8月 公民館	
アンニョン韓国語教室パートII	テーマは「時代劇から学ぶ韓国の歴史」と「韓ドラから学ぶ韓国の食文化」	11月 公民館	4回
「LGBTQを知るコト」	LGBTQをカミングアウトされている当事者による講話	1月 公民館	
成人文化講座	わらび座観劇	7月 大仙市	
支援講座	村民のニーズに合わせた講座の開催を支援	随時 公民館	

⑤ 高齢者の生きがい支援

高齢者の知識・技能を生かした地域活動を奨励するとともに、仲間同士及び世代間の交流を広める講座を開設しながら、高齢者の生きがいづくりを支援する。

事業名	事業内容	期日・場所
高齢者学級	移動研修や講話等とおして、高齢者が自らの生活に生きがいを見だし、充実した人生を考える機会とする。	6月～12月 3回 予定

⑥ ボランティア養成と自主活動の支援

施設での活動体験や事業の企画・運営等の実践を通して、相互に支え合う地域社会の実現を目指し、地域におけるボランティア活動を推進する。

事業名	事業内容	期日・場所
図書ボランティア研修	公民館図書室の充実と絵本等読み聞かせに関心のある方を対象に、知識の習得と資質向上を図る。	2回 村内・移動研修他
子育てサポーター研修	家庭教育支援の充実を図るため、地域全体で子育てしていく環境作りを目指し、村内で活動する子育てサポーターの資質向上を図る。	1回 移動研修
大潟村案内ボランティア	博物館来館者及び村内観光者に干拓の歴史、村の生活、村の産業、男鹿半島・大潟ジオパーク等の説明及び案内。	随時
自主講座の支援	自主講座開催に伴う相談や講師の紹介等、既存組織への活動支援と助成。	随時
バス研修の支援	社会教育団体等がバスを借り上げて研修した場合、費用の一部を助成する。	随時
社会教育関係団体への助成	社会教育関係事業を実施している団体に助成し、活動を助長するとともに、団体構成員相互の自己啓発と連帯感の構成を図る。	〈別表2〉

<別表2> 社会教育関係団体への助成

No.	団体名	育成の目的	補助金
1	婦人会	婦人会の自主的活動の助長を図る。	170
2	青年会	青年会の自主的活動の助長を図る。	90
3	フレッシュミズ	フレッシュミズの自主的活動の助長を図る。	90
4	芸術文化協会	芸術文化活動を推進するため、会の自主的活動の助長を図る。	460
5	耕心会	耕心会の自主的活動の助長を図る。	170
6	高校生をもつ保護者の会	高校生をもつ保護者が相集い、相親しんで、心身ともに健全な高校生の育成を図る。	90
7	花いっぱい運動推進協議会	花いっぱい運動推進協議会の自主的活動の助長を図る。	1,410
8	P T A連絡協議会	P T A連絡協議会の自主的活動の助長を図る。	90
9	子ども会育成連絡協議会	子ども会の自主的活動の推進を図る。	270
10	スポーツ協会	スポーツ協会の育成強化を図る。	460
11	スポーツ少年団	スポーツ少年団の育成強化を図る。	600

⑦ 芸術文化活動

学習成果を生かす場の創出によって、生涯学習の一層の推進を図る。

事業名	事業内容	期日・場所
芸文協活動支援	村内の芸文協加盟団体への助成とその自主活動を支援する。	随時
芸文祭の開催（第46回）	日頃の活動の成果を発表し、地域文化の創造と振興を図る。	2月22・23日 ホテルサンルーラル大潟

(2) 干拓博物館

八郎潟干拓事業についての多くの資料を収蔵し、これらを活用して多くの方々に八郎潟干拓と大潟村の歴史を紹介している。また、村民と一緒に様々な企画展示・自然観察会を実施しているほか、案内ボランティアを養成し、ガイド案内活動を支援するなど村民との協働により、村の歴史、自然、農業、芸術文化などを様々な角度から広く紹介することを目指す。

① 企画展示室事業

企画展示室事業	分野	時期	主催団体等	内容等
(仮) 小野寺久憲氏 企画展	自然	6月下旬～ 8月下旬	小野寺久憲氏 大潟村教育委員会	パラグライダーで東北を横断した小野寺久憲氏の空をテーマにした企画展
企画展 「八郎太郎伝説」	民俗	10月上旬～ 1月下旬	大潟村教育委員会	八郎太郎に関する企画展
芸術文化祭創作作品展	芸術	3月上旬～ 3月下旬	大潟村教育委員会 大潟村芸術文化協会	芸文祭出展作品の企画展

② 博物館教室等の開催

事業名	時期	主催団体等	内容等
①科学実験・工作教室			
GW親子科学工作教室	4月27日～ 4月29日	大潟村教育委員会	毎年行っている菜の花の時期に合わせた親子対象の工作教室
理科教材で遊ぼう！	11月3日	大潟村教育委員会 大潟の自然を愛する会	理科教科書に則した題材の工作
博物館工作教室	12月1日	大潟村教育委員会	野鳥観察とセットで行う工作教室。
②大潟村自然観察会			
田んぼの生きもの観察会	7月7日	コガムシの会	村内有機圃場での生きもの観察会
星空観望会	7月下旬	秋田星っこの会	生態系公園での星空観望
おおがたむらのいきもの観察	7月28日	大潟村教育委員会 大潟の自然を愛する会	生態系公園で生きもの観察会
冬鳥観察会	12月1日	大潟の自然を愛する会 大潟村教育委員会	県外講師を招くため、野鳥の渡り期間中の行えるタイミングで開催

③ 生物多様性（生物調査）事業

事業名	時期	主催団体等	内容等
大潟村内の水生生物調査	夏	大潟の自然を愛する会 大潟村教育委員会 他	外来種の侵入具合や八郎潟から消えた生きものなど
希少猛禽類生息調査	11月～1月	大潟の自然を愛する会 他	冬季に飛来するレッドリスト記載の猛禽類の生息調査

④ ジオパーク関連事業

事業名	時期	主催団体等	内容等
東北ジオパークフォーラム	5月3日・ 4日	ジオパーク 東北ブロック	東北管内の9ジオパークが盛岡市に集合、周知イベントを行う
まるごと体験！ あきたのジオパーク	7月下旬	県ジオパーク連協 (男鹿半島・大潟)	県内の4ジオパークが秋田駅で周知イベントを行う
日本ジオパーク全国大会 in下北大会	8月30日～ 9月1日	下北ジオパーク	ジオパークの全国大会。成果発表他。案内ボランティアも参加予定
JGN全国研修会	11月頃	日本ジオパーク ネットワーク	ジオパークの全国研修会

⑤ 文化財保護事業

事業名等	期日	内容等
大潟村の文化財指定	随時	大潟村区域内に存在する、後世にわたり保護し、伝えていくべきものを文化財に指定する。

(3) 体育館

地域に根ざした生涯スポーツの振興を図るため、日ごろの自主的なスポーツ活動を促すとともに、多様化・高度化するスポーツニーズにも配慮しながら、気軽に参加できるスポーツの普及推進に努める。

① スポーツ推進委員等関係事業

大会・事業等名	期日	場 所
秋田県スポーツ推進委員連絡協議会理事会・評議委員会・専門委員会・正副会長会議	4月12日	秋田市
男鹿・潟上・南秋地区スポーツ推進委員連絡協議会総会	4月27日	八郎潟町
秋田県スポーツ推進委員研究大会	6月15～16日	大仙市
秋田県女性スポーツ推進委員交流のつどい	7月20日or27日	由利本荘市
東北地区スポーツ推進委員研修大会	7月12日・13日	宮城県石巻市
全国スポーツ推進委員研究協議会	11月14日・15日	宮崎県宮崎市
男鹿・潟上・南秋地区スポーツ推進委員研修会	1月下旬	未定
生涯スポーツ・体力づくり全国会議2025	2月上旬	未定
大潟村スポーツ推進委員総会	3月下旬	大潟村

② スポーツ協会活動及びスポーツ少年団への助成・支援

1) スポーツ協会活動内容

大会・事業等名	期日	場 所
村民スポーツ大会等各種体育団体の指導支援	随 時	各会場
各種スポーツ大会成績優秀者への顕彰事業	3月下旬	大潟村
スポーツ協会評議委員会の開催	3月下旬	大潟村

2) スポーツ少年団活動内容

大会・事業等名	期日	場 所
スポーツ少年団団員育成事業	随 時	
スポーツ少年団認定員講習会への参加	5月～	秋田市 他
大潟村スポーツ少年団委員総会	3月中旬	大潟村

③ 村民スポーツ大会

大会名	期日	場所
村民登山	7月13日	大館市鳳凰山
村民野球大会	7月13日・14日	村民野球場 他
村民グラウンドゴルフ大会	7月上旬or 8月上旬	多目的運動広場
大潟村サマーレガッタ	7月6日	大潟漕艇場
村民水泳大会	8月7日	B&G海洋センター
村民ゴルフ大会	8月16日	男鹿ゴルフクラブ
村民ソフトボール大会	8月24日・25日	村民野球場 他
村民駅伝大会	9月9日	村内周回道路
村民剣道大会	12月14日or21日	村民体育館
村民卓球大会	12月15日	村民体育館
村民バレーボール大会	1月19日	村民体育館
村民ボウリング大会	1月中旬	能代スポーツセンター
村民スキー & スノーボード大会	2月10日	オーパス
村民バドミントン大会	2月中旬	村民体育館
村民ソフトテニス大会	2月中旬	村民体育館
村民ミニテニス大会	3月中旬	村民体育館

④ 村民スポーツ教室

事業名	期日	場所
ボート教室	7月～8月	大潟漕艇場
小学生初心者水泳教室	7月23日～27日	B&G海洋センター

⑤ 教育委員会主催スポーツ大会

大会名	期日	場所
八郎潟干拓記念駅伝競走大会	9月23日	ソーラースポーツライン
大潟剣道錬成大会	2月11日	村民体育館

⑥ スポーツコミッションの支援

事業名	内 容
スポーツコミッション おおがた活動支援事業	デンマークボート事前合宿受入や世界大学水上スキー選手権大会等の開催実績など当村の持つ水上スポーツ環境を全国にPRすることで長期滞在合宿や水上イベントの誘致活動を行います。 また、交流人口の拡大に向け、村内組織と連携したスポーツイベント等の開催を支援します。

⑦ 各種スポーツ大会への助成

(単位：千円)

No.	大会・事業等名	内 容	補助金
1	八郎潟干拓記念駅伝競走大会	八郎潟干拓記念駅伝競走大会の円滑な運営を図る。	1,200
2	各種スポーツ大会派遣費	各種スポーツ大会へ派遣し、選手の育成強化を図る。	1,000

(4) 施設・整備

村民が集い、実践の場として教育・文化・スポーツ活動等が円滑かつ効果的に行えるよう学習環境や施設等の整備充実に努める。

① 公民館

区 分	内 容
学習教材・備品の整備	・図書 ・プロジェクター（1台）
施設設備等	・雨水管布設工事
施設管理	・施設管理等委託料 ・管理消耗品 ・光熱水費 ・燃料費 ・点検料 ・火災保険 ・その他

② 干拓博物館

区 分	内 容
学習教材・管理備品の整備	・動物標本
施設整備等	・Wi-Fi環境整備
施設管理	・施設管理委託料 ・管理消耗品 ・光熱水費 ・燃料費 ・点検料 ・火災保険 ・その他

③ 体育館

区 分	内 容
備品の整備	・AED ・集草機 ・野球場音響設備

<p>施設整備等</p>	<p>○工 事 ・ 野球場メインスタンド手摺り改修工事</p> <p>○指定管理 ・ 多目的運動広場 及び 多目的グラウンド指定管理</p> <p>○委 託 ・ 村民ラグビー場芝管理業務委託 ・ 水上スキー場保守管理委託 ・ ウインチ取付取外し委託 ・ B & G 海洋センタープール管理委託 ・ 冷暖房機械保守管理委託 ・ B & G 海洋センタープール水質検査委託 ・ B & G 海洋センタープール濾過装置保守点検委託 ・ B & G 海洋センタープール・体育館窓清掃委託 ・ B & G 海洋センター上屋シート管理委託 ・ 村民体育館地下油槽漏洩確認検査委託 ・ 特殊建築物検査委託 ・ 村民体育館防火設備検査委託 ・ 漕艇場ランドマーク設置棧橋撤去業務委託 ・ 野球場メインスタンド手摺り改修工事設計監理業務委託 ・ 増改築基本設計業務委託 ・ ステアリングマーカー製作業務委託 ・ 案内看板等設置業務委託</p> <p>○修 繕 ・ 施設補修 ・ 備品修繕</p>
<p>施設管理</p>	<p>・ 施設管理委託料 ・ 管理消耗品 ・ 光熱水費 ・ 燃料費 ・ 点検費 ・ 火災保険 ・ その他</p>

(5) 各種委員会

生涯学習を総合的に推進するため、村行政部局との連絡・調整を図るとともに、各機関や生涯学習団体等との連携を一層充実させる。

また、各種委員会活動を通して、村民の生涯学習・社会教育への要望・要請を的確に把握しながら、関係事業の充実と生涯学習施設の有効活用を図る。

名 称	活 動 内 容
大潟村生涯学習奨励員協議会	奨励員の資質の向上と生涯学習の普及と充実に努める。(随時)
大潟村社会教育委員会	社会教育の振興計画等について、提言・調査研究をする。 (年3回 6月・11月・2月)
大潟村スポーツ推進委員	社会体育を推進するため指導・助成及び事業実施に係る連絡調整、調査研究並びにスポーツ普及に努める。(随時)
大潟村きらきら塾実行委員会	村内の各種同好会・団体・機関等の代表者が事業の企画・運営を協議する。 (年2回 6月・3月)
大潟村干拓博物館協議会	博物館の運営及び各種企画・展示事業について協議する。(年2回)

Ⅲ

生涯学習・社会教育施設

	施設の名称	所在地	電話
1	大 潟 村 公 民 館	☎010-0443 大潟村字中央1-21	0185-45-2611
2	大 潟 村 村 民 体 育 館	☎010-0441 大潟村字北2-1	0185-45-2269
3	大 潟 村 村 民 テ ニ ス コ ー ト	//	問合せは体育館
4	大 潟 村 民 野 球 場	☎010-0441 大潟村字北2-2	問合せは体育館
5	大 潟 村 サ ブ 野 球 場 (サ ブ グ ラ ウ ン ド)	//	問合せは体育館
6	大 潟 村 多 目 的 運 動 広 場 (愛 称 : ポ ル ダ ー プ レ ー ン)	☎010-0441 大潟村字北1-2	0185-45-2955
7	大 潟 村 民 相 撲 場	☎010-0445 大潟村字西1-12	問合せは体育館
8	大 潟 村 多 目 的 グ ラ ウ ン ド (大 潟 村 勤 労 者 総 合 ス ポ ー ツ 施 設)	☎010-0441 大潟村字北1-4	0185-45-2955
9	大 潟 村 B & G 海 洋 セ ン タ ー	☎010-0443 大潟村字中央5-2	0185-45-3198
10	大 潟 村 干 拓 博 物 館	☎010-0445 大潟村字西5-2	0185-22-4113
11	大 潟 村 ボ ー ト セ ン タ ー	☎010-0452 大潟村字方上61-6	問合せは体育館
12	大 潟 漕 艇 場 (公 益 社 団 法 人 日 本 ボ ー ト 協 会 公 認 C 級)	☎010-0455 大潟村字西野190-1	問合せは体育館
13	大 潟 村 水 上 ス キ ー 場	☎010-0453 大潟村字方口150-41	問合せは体育館

1. 大潟村公民館

(1) 施設概要

- 位 置 秋田県南秋田郡大潟村字中央1番地の21（電話 0185-45-2611）
- 竣 工 昭和44年7月
- 敷地面積 3,852.58㎡
- 建設工事 〈構造〉鉄筋コンクリート造2階建
〈建築面積〉（本館）1,361.27㎡（展望台）120.96㎡
- 施設内容 教育委員会事務局103.4㎡、大集会室201.60㎡
第1集会室60.8㎡、第2集会室60.8㎡、和室60.8㎡
図書室136㎡、村民談話室68㎡、生涯学習奨励室22.9㎡
配電室、倉庫4箇所、男女トイレ2箇所

(2) 施設の使用手続き

- ① 使用申込み 使用当日の土日祝日を除く3日前までにインターネット予約を行うこと。
- ② 開館時間 原則午前9時～午後9時まで。
- ③ 休館日 毎週月曜日。ただし、月曜日が祝日と重なった場合は開館し、翌平日を休館とします。

2. 大潟村村民体育館

(1) 施設概要

- 位 置 秋田県南秋田郡大潟村字北2丁目1番地（電話 0185-45-2269）
- 竣 工 昭和54年3月31日
- 敷地面積 10,305.5㎡
- 建設工事 〈構 造〉鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2階建
〈建築面積〉2,181.6350㎡
〈床面積〉1階=1,857.3750㎡ 2階=490.5005㎡
計=2,347.8755㎡
- 施設内容 ・ 体育室1,126.8㎡（37.56m×30.0m）、ステージ105.6㎡
・ 用具室77.1㎡、観客席292㎡ 220席、事務室39.6㎡
・ 放送室、宿直室、湯沸室、男女更衣室、シャワー室各1
・ 男女トイレ各1（障害者用有り）、その他
・ 体育室暖房設備完備（昭和58年）
・ 体育室ライン等工事（昭和63年）
・ 駐車場3,400㎡ 98台収納

(2) 施設の使用手続き

- ① 使用申込み 使用当日の土日祝日を除く7日前までにインターネット予約を行うこと。
- ② 開館時間 開館日は、毎週月曜日を除いた日が原則となります。なお、年末年始は、休館となります。(12月31日～1月5日)
開館時間は、午前9時～午後10時が原則となります。なお、日曜日と祝日は、午前9時～午後5時です。
※その他詳しいことは、村民体育館にお尋ねください。

3. 大潟村村民テニスコート

(1) 施設概要

- 位置 秋田県南秋田郡大潟村字北2丁目1番地（電話 0185-45-2269）
- 竣工 平成元年10月15日
- 構造 砂入り人工芝（全天候型）2面
面積 1,698㎡（42m×40m+18㎡）
- 施設内容
 - ・方向 ネットに向かって南北の方向
 - ・フェンス 高さ2m50cm、ポリエチレンネット
 - ・夜間照明設備 4基4燈=16燈（メタルハイランド1,000kW）
 - ・駐車場設備 43台収容
 - ・その他 審判台2台、ガーデンチェア14脚、用具庫等

(2) 施設の使用手続き

- ① 使用申込み 使用当日の土日祝日を除く7日前までにインターネット予約を行うこと。
- ② 使用時間 使用時間は、午前5時～午後9時30分です。
※その他詳しいことは、村民体育館にお尋ねください。

4. 大潟村民野球場

(1) 施設概要

- 位置 秋田県南秋田郡大潟村字北2丁目2番地
- 竣工 昭和55年11月15日
- 構造 グラウンド舗装～・内野＝表層10cm 中層8cm 下層12cm
・外野＝表層野芝べた張り 下層15cm
- 施設内容
メインスタンド構造～鉄筋コンクリート造平屋建スタンド型式
・方向～真北より東へ15度の方向（P→H）
・距離～（ホームより）両翼97m、中堅120m、本塁後方20m
・面積 球場内面積12,941㎡（内野3,221㎡、外野9,720㎡）
・スタンド面積1,006㎡（メインスタンド216㎡、内野スタンド970㎡）
・観客収容人員 メインスタンド401人、内野スタンド1,024人
・メインスタンド設備内容 本部役員室、放送室、役員等控室2箇所
58.5㎡、更衣室、シャワー、トイレ室20.8㎡、外部男女トイレ各1箇所
37.6㎡、倉庫17.6㎡
・その他 バックスクリーン、スコアボード、ダックアウト2箇所、ブル
ペン1人用2箇所、給水栓8箇所

(2) 施設の使用手続き

- ① 使用申込み 使用当日の土日祝日を除く7日前までにインターネット予約を行うこと。
- ② 使用時間 使用時間は、午前5時～午後7時です。
※その他詳しいことは、村民体育館にお尋ねください。

5. 大潟村サブ野球場（サブグラウンド）

(1) 施設概要

- 位置 秋田県南秋田郡大潟村字北2丁目2番地
- 敷地面積 19,600㎡（140m×140m）（昭和63年拡張工事）
- 施設内容
・軟式野球として1面、ソフトボールとして2面
・固定バックネット2箇所、倉庫1箇所

(2) 施設の使用

サブグラウンドは、自由に使用できます。ただし試合等で優先的に使用したい場合は、村民体育館（電話 0185-45-2269）に申し出てください。

6. 大潟村多目的運動広場（愛称：ポルダープレーン）

(1) 施設概要

- 位 置 秋田県南秋田郡大潟村字北1丁目2番地
- 竣 工 平成4年3月25日
- 広場面積 18,330㎡（総芝生）
- 施設内容
 - ・ 休憩室、事務室、トイレ、夜間照明3基
 - ・ グラウンドゴルフ、軽スポーツ
 - ・ 隣接駐車場400台

(2) 管理及び使用申込み

(株)ルーラル大潟 多目的運動広場管理棟（電話 0185-45-2955）

7. 大潟村民相撲場

(1) 施設概要

- 位 置 秋田県南秋田郡大潟村字西1丁目12番地1
- 敷地面積 580㎡
- 施設内容
 - ・ 戸外屋根付き相撲場（土俵：7.5m×7.5m×高さ36cm方形）
 - ・ 芝観客席（220席）及び本部席
 - ・ 隣接駐車場50台

(2) 使用申込み

村民体育館（電話 0185-45-2269）

8. 大潟村多目的グラウンド（大潟村勤労者総合スポーツ施設）

(1) 施設概要

- 位 置 秋田県南秋田郡大潟村字北1丁目4番地
- 敷地面積 18,569㎡
- 施設内容
 - ・ サッカー場（兼ラグビー場）1面（89m×149m）、ウォーミングアップ場（20m×100m）
 - ・ 管理棟140㎡（ミーティングルーム1室、更衣室2室、男女トイレ各1室、シャワー室2室、事務室）、夜間照明6基
 - ・ 駐車場10台（隣接駐車場200台）

(2) 管理及び使用申込み

(株)ルーラル大潟 多目的運動広場管理棟 (電話 0185-45-2955)

9. 大潟村 B & G 海洋センター

(1) 施設概要

- 位 置 秋田県南秋田郡大潟村字中央5丁目2番地 (電話 0185-45-3198)
- 竣 工 平成5年5月20日
- 敷地面積 3,600㎡ (延面積208㎡)
- 構 造 上屋付プール
- 施設内容
 - ・ 25mプール6コース (ステンレス製25m×13m)
 - ・ 幼児プール (11m×8m変形)
 - ・ 男子更衣室、女子更衣室、シャワー室、トイレ、足洗場、ホール、事務室、コーチ控室、機械室、薬品庫、倉庫、フラッグポール
 - ・ 駐車場34台

(2) 施設の使用手続き

- ① 海洋センターを使用する方は、職員の許可を得てから入館してください。ただし、大会及び教室等を開催するために海洋センターの一部または全部を占有する場合は、使用許可申請書を教育委員会 (窓口：村民体育館 - 電話 0185-45-2269) に提出し、その許可を受けてください。
 - ② 前項の許可を受けた場合であっても、所長は、次の各号に該当すると認めるときは、その使用許可を取消しし、又は、使用を停止することがあります。
 - 1) 使用許可申請書に偽りの記載があったとき。
 - 2) 条例及び本規則に違反すると認められるとき。
 - ③ 小学校1年生未満の子ども (午後5時30分以降にあっては、小学校6年生以下の子ども) の使用については、保護者または責任者の付き添いが必要です。
 - ④ 団体利用する場合は、2週間前までに申し出てください。
 - ⑤ 開館期間 6月～9月
 - ⑥ 休 館 日 毎週月曜日 (月曜日と祝日が重なるときは、その翌日)
 - ⑦ 開館時間 6月……………午前9時30分～午後4時30分まで
7月・8月…………午前9時30分～午後8時まで
9月……………午前9時30分～午後4時30分まで
- ※その他詳しいことは、海洋センターまでお尋ねください。

10. 大潟村干拓博物館

(1) 施設概要

- 位 置 秋田県南秋田郡大潟村字西5丁目2番地（電話 0185-22-4113）
- 竣 工 平成12年
- 敷地面積 20,673.30㎡
- 建築面積 2,528.80㎡
- 延床面積 2,578.39㎡
- 展示面積 867.73㎡
- 構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建（一部2階）

(2) 主要施設

- 導入部門 風除室、エントランスホール、インフォメーション
- 展示部門 第1展示室、第2展示室、企画展示室1・2、シアター（大地創造劇場）
- 教育普及部門 研修室、ワークルーム、情報ライブラリー兼調査研究室
- 収蔵部門 収蔵庫
- 管理部門 事務室、給湯室、更衣室、トイレ、機械室、倉庫
- 駐 車 場 52台

(3) 設備・備品

- 主要備品 机、イス、展示パネル、展示ケース
- 視聴覚機器 マイク、スピーカー（2台）、拡声器

(4) 施設の使用方法

- 開館時間／9時～16時30分（入館は16時まで）
- 入館料／一般・大学生 300円（250円）
小・中・高校生 100円（50円）
※（ ）内の数字は、15名様以上の団体料金です。
※身体障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は、
付添人を含めて無料です。
※大潟村民及び村内で働
いている人は無料です。
- 休 館 日／4～9月：毎月第2、第4火曜日
10～3月：毎週火曜日
年末年始（12月31日～1月3日）
※火曜日が祝日の場合は翌日

交通のご案内

- 秋田空港から車で1時間30分
- J R 秋田駅下車車で1時間
- J R 奥羽本線八郎潟駅下車車で20分
- J R 男鹿線船越駅下車車で20分
- 昭和男鹿半島ICから車で30分
- 五城目八郎潟ICから車で20分



11. 大潟村ボートセンター

(1) 施設概要

- 位置 秋田県南秋田郡大潟村字方上61番6
- 施設内容
 - ・艇庫 (木造1階建 495㎡)
 - ・トレーニング器具一式
 - パワーラック2台 レッグプレス1台
 - ローイングエルゴ3台
 - バイクエルゴ3台 ケトルベルほか
 - ・ボート M1 × : 7艇 W1 × : 7艇
 - M2 × : 7艇
 - M4 × + : 7艇 W4 × + : 7艇

(2) 施設の使用手続き

村民体育館 (電話 0185-45-2269)

12. 大潟漕艇場 (公益社団法人日本ボート協会公認C級)

(1) 施設概要

- 位置 秋田県南秋田郡大潟村字西野190番地1
- 施設内容
 - ・コース 12.5m×1,000m×5レーン (回漕1レーン含む)
 - ・艇庫 1棟 (木造1階建 495㎡)
 - ・艇庫 2棟 (仮建築物 207㎡)
 - ・ボート M1 × : 7艇 W1 × : 7艇
 - M2 × : 7艇
 - M4 × + : 7艇 W4 × + : 7艇
 - ・ナックルフォア:10艇 (桑野造船製)
 - ・コースブイ @25m (非常設)
 - ・距離表示板 (常設)
 - ・その他付帯備品 1式

(2) 施設の使用手続き

村民体育館 (電話 0185-45-2269)



13. 大潟村水上スキー場

(1) 施設概要

- 位置 秋田県南秋田郡大潟村字方口150番地41
- 施設内容
 - ・コース W80m×L1,100m
 - ・艇庫 1棟
 - ・管理棟 1棟
 - ・ジャッジタワー 5基
 - ・曳航艇 2艇
 - ・救助艇 2艇



(2) 施設の使用手続き

NPO法人 スポーレおおがた（電話 090-4042-0799）



奉納相撲大会



家庭教育学級「つまみ細工」



親子防災教室



現4年生 校外学習
(スーパーマーケット見学)



水遊び



二十歳のつどい

IV

各団体の活動・取り組み

1. 大潟こども園PTA
2. 大潟小学校PTA
3. 大潟中学校PTA
4. 大潟村青年会
5. 大潟村フレッシュミズ
6. 大潟村婦人会
7. 大潟村老人クラブ連合会
8. 大潟村耕心会
9. 大潟村子ども会育成連絡協議会
10. 大潟村高校生をもつ保護者の会
11. 大潟村芸術文化協会
12. 大潟村スポーツ協会
13. 大潟村スポーツ少年団
14. NPO法人スポーレおおがた
15. スポーツコミッションおおがた

1. 大潟こども園PTA

(1) 活動方針

- ・園教育に協力し、あわせて会員相互の修養・親睦を図る。
- ・園内外の教育環境の整備をする

(2) 事業計画

- | | | | |
|----|--|-----|---|
| 4月 | PTA総会・保育参観（19日）
第1回PTA役員会（24日） | 11月 | 親子レクリエーション
花壇整備
保育参加（3・5歳児）・保育参観（4歳児）・球根植え（3・4歳児）（8日）
大潟村PTA連絡協議会主催
研修会 |
| 6月 | 花壇整備
親子花の苗植え・保育参観（4・5歳児）（11日）
歯みがき教室（3歳児）（11日）・
保護者講習会（11日）
第1回大潟村PTA連絡協議会 | 12月 | なかよし発表会（7日）
冬季休業生活指導委員会
PTA会報原稿依頼 |
| 7月 | 夏季休業生活指導連絡協議会 | 1月 | 第3回PTA役員会（16日）
PTA会報原稿校正 |
| 8月 | 第2回PTA役員会（28日） | 2月 | 第3回大潟村PTA連絡協議会
園舎清掃・クラス懇談会（3・4・5歳児）（19日）
保育参加・クラス懇談会（0～2歳児）（20日） |
| 9月 | 第2回大潟村PTA連絡協議会
運動会テント設営
親子ふれあい運動会（14日） | 3月 | PTA会報「みどりの風」発行
PTA会計監査 |



(3) 役員

会 長	川 原 伸 一	幹 事	大 島 翔 平
副 会 長	松 橋 拓 郎	〃	三 浦 秋 帆
〃（こども園）	田 中 友 美	監 事	池 田 陽 子
幹 事	藤 田 和 代	〃	高 森 優 樹
〃	田 村 恵	顧 問	五十嵐 雅 敏
〃	谷 口 真 紀	〃（こども園）	長 浜 中
〃	畑 瀬 裕 哉		

2. 大湊小学校PTA

(1) 活動方針

保護者と教師が協力して、学校、家庭、社会における児童の幸福と健やかな成長を図りつつ、新しい時代に即応するため、会員相互の研修などを通して、資質の向上に努める。

(2) 事業計画

月	PTA関連行事	役員会	広報部	研修部	校外部
4	始業式(4) 入学式(5) PTA授業参観・総会・懇談(26)	PTA授業参観・総会・懇談(26)	PTA授業参観・総会・懇談(26)	PTA授業参観・総会・懇談(26)	PTA授業参観・総会・懇談(26)
5	第1回役員・専門部会(8) 運動グラウンド整備(27) 運動会準備(31)	第1回役員・専門部会(8) 運動グラウンド整備(27) 運動会準備(31)	第1回役員・専門部会(8) 第1回広報部会(10) 運動会準備(31)	第1回役員・専門部会(8) 第1回研修部会(10) 運動会準備(31)	第1回役員・専門部会(8) 運動グラウンド整備(27) 運動会準備(31)
6	運動会(1) 第1回3P連絡協議会 県PTA連合会定例総会 市郡PTA 5年自然教室(27,28)	運動会(1) 第1回3P連絡協議会 県PTA連合会定例総会 市郡PTA	運動会(1) 第2回広報部会	運動会(1) 第2回研修部会	運動会(3) *青バト開始
7	夏休生活指導連絡協議会 PTA授業参観・懇談(7) 6年修学旅行(11,12) 県PTA連合会第1回委員会 校外児童会(22) 保護者個人面談(24~26) 夏季休業(7/23~8/24)	夏休生活指導連絡協議会 PTA授業参観・懇談(7) 県PTA連合会第1回委員会	第3回広報部会 第4回広報部会 会報124号発行		夏休生活指導連絡協議会 校外児童会(22)
8					夏季休業中の生活指導
9	第2回3P連絡協議会	第2回3P連絡協議会		研修会	
10	県PTA連合会第2回委員会学習発表会(26)	県PTA連合会第2回委員会		反省会	
11	市郡PTA研究大会 1日行政体験事業 小中合同学校保健委員会	市郡PTA研究大会 1日行政体験事業 小中合同学校保健委員会			
12	冬季休業生活指導連絡協議会 PTA授業参観・懇談(6) 県PTA連合会第1回総務委員会 第1回ふるさと祭り実行委員会	冬季休業生活指導連絡協議会 PTA授業参観・懇談(6) 県PTA連合会第1回総務委員会 第1回ふるさと祭り実行委員会			冬季休業生活指導連絡協議会
1			第5回広報部会		
2	第3回3P連絡協議会 PTA授業参観・全体会・懇談(20) 第2回役員・専門部会	第3回3P連絡協議会 PTA授業参観・全体会・懇談(20) 第2回役員・専門部会	第6回広報部会 第2回役員・専門部会(28)	第2回役員・専門部会(28)	第2回役員・専門部会(28)
3	卒業証書授与式(14) 会計監査	卒業証書授与式(14) 会計監査	会報125号発行		
備考					

(3) 役員

会長	齊藤明裕	幹事	後藤美鈴	会計幹事(学校)	池田真菜美
副会長	津島弘延	幹事	佐藤崇弘	会計監査	土井隆之
〃	森田聖基	幹事	村上和子	会計監査	伊藤遙
〃(学校)	伊藤昌人	幹事	戸堀美子	会計監査	五十嵐夏来
幹事長	伊藤寛明	幹事	渡部純也	顧問(前会長)	前川正洋
副幹事長	森田恵美	庶務幹事(学校)	門間淳	顧問(学校)	加賀谷久志

3. 大湊中学校 P T A

(1) 活動方針

- ・地域とともにある学校づくりに向けて、学校と家庭の結び付きを深め、教育活動について相互理解を図る。
- ・家庭における教育の充実を図る。

(2) 事業計画

月	主な学校行事	P T A 役員	総務部	文化部	体育部	校外指導部
4	4 新任式・1学期始業式 5 入学式 17 P T A・部活動後援会総会 27・28 市郡春季体育大会	臨席（会長） 総会				
5	9 P T A・部活動後援会役員会 14 体育祭 21・22 宿泊体験学習（2年） 22 校外学習（1年） 22～24 修学旅行（3年）	役員会	部会	部会	部会	部会
6	4 3年進路P T A① 6 3 P 連絡協議会① 13 市郡総体激励会 14・15 市郡総合体育大会 25 第1回定期テスト	3 P 連絡協議会		部会①		青バト講習会
7	3 P T A授業参観 5～7 吹奏楽コンクール 中央地区大会 13～15 県総合体育大会 19 給食試食会 22 1学期終業式 23～8/24 夏季休業	P T A 研修会、役員会	給食試食会	部会② 会報発行 131号		
8	26 2学期始業式 課題・実力テスト					
9	* 3 P 連絡協議会② 7 大中祭 9 大湊神社例大祭宵宮祭 13 秋季大会激励会 14・15 市郡秋季体育大会(野球) 21・22 市郡秋季体育大会 27 第2回定期テスト	3 P 連絡協議会				見守り指導 交通安全運動 街頭指導
10	16 3年進路P T A②					
11	1 開校記念日 22 第3回定期テスト（3年） 27 同窓会講話会 * 学校保健委員会 * 連携教育公開研究会				学校保健委員会へ出席	青バト
12	* 3 P 連研修会 10 第3回定期テスト（1、2年） 13 P T A授業参観 25 2学期終業式 26～1/13 冬季休業	役員会	研修会			青バト
1	14 3学期始業式 課題・実力テスト					青バト
2	* 3 P 連絡協議会③ 18 学年末P T A 26 第4回定期テスト（1、2年）	3 P 連絡協議会 役員会		部会③		青バト
3	7 卒業証書授与式 21 修了式 24 会計監査、役員会	臨席（会長） 監査・役員会		部会④ 会報発行 132号		青バト

(3) 役員

会長
副会長
〃
〃
〃
〃（学校）

黒 瀬 友 基
浅 野 友 宏
進 藤 智 哉
三 浦 久 樹
小 野 貴 幸

監 事
〃
〃
庶務幹事(学校)
会計幹事(学校)

伊 藤 千 春
土 屋 香 珠
武 石 万 里
須 藤 朋 子
安 藤 誠 子

4. 大潟村青年会

(1) 活動方針

本会は大潟村に居住、または村内の各機関に係わる青年男女をもって組織し、

- 会員相互の親睦を図ること
- 青年の使命を遂行すること
- また住みよい社会の建設発展に寄与することを目的とする。

(2) 主な事業計画

月	事業名	場所
4月	新入会員歓迎会・脱退会員送別会	青年会館
6月	公民館窓拭き	公民館
	盆踊り臨時総会	青年会館
8月	第54回全村盆踊り大会	商店街前駐車場
9月	例大祭協力	神社
	大中祭協力	大潟中学校
11月	なべっこ	青年会館
12月	イルミネーション設置	村内
	クリスマスプレゼント配布	村内
1月	新年会	秋田市
2月	ふるさと祭り協力	村民体育館周辺
	イルミネーション撤去	村内
3月	定例総会	青年会館
随時	交流会、学習会、部外活動、研修会	

(3) 役員

会 長	樋 熊 亜 輝	理 事	菅 原 青 空
副 会 長	馬 場 将 之	〃	横 山 織 瑠
〃	小 林 野 輝	〃	木 村 圭 吾
事 務 局 長	佐々木 一 馬	〃	近 藤 尚 子
会 計	中 山 雅 史	監 事	仁 木 富 峰 也
		〃	中 島 弘 明

5. 大潟村フレッシュミズ

(1) 活動方針

会（部）員の加入促進と活動の活性化を図りながら、健康で豊かな生活を営むために風土にあった食生活を学び、子どもの健全育成に努めながら、住み良い地域社会づくりに積極的に参加する。

(2) 活動計画

月	事業名
3 月	引継ぎ会 役員会①（年間スケジュール確認、開催時期確認他）
6 月	役員会②（会員交流会、村外研修内容検討他） 大潟富士サルビア定植（役員）
7 月	役員会③（会員交流会最終確認他） 会員交流会
8 月	役員会④（村外研修最終確認他） 村外研修
10 月	役員会⑤（J A 座談会最終確認、料理講習会内容検討他）
11 月	J A 座談会&教養講座 女性部合同軽スポーツ交流会
12 月	役員会⑥（総会日程・内容検討他） 料理講習会
1 月	豆腐作り講習会 役員会⑦（総会内容検討他）
2 月	役員会⑧（総会最終確認他） 定例総会&教養講座
備考	各事業は役員会の承認によって変更することもある

(3) 執行部・企画部

埴生穂香 田村 恵 竹本 かおり 川原 真理子
木村 愛希 武石 万里子

6. 大潟村婦人会

(1) テーマ「もりあげよう・つなげよう 婦人会 女性部活動」

取り組みたいこと

- あぐりプラザへ買い物に行こう
- 婦人会・女性部へ誘って仲間の輪を広げよう
- 食の安心安全と地産地消
加工センターを利用し活用しよう
- 男女共同参画の推進

(2) 事業計画

大潟村婦人会・J A大潟村女性部		地域婦人連合会・J A秋田女性組織協議会
月	事業内容	事業内容
3月	☆水稲育苗講習会	○南秋連合婦人会委員総会 ☆J A秋田女性組織協議会 ☆J A秋田四連役員との懇談会
4月		☆J A秋田女性組織協議会総会
5月		○秋田県地域婦人連合会総会
6月	☆J A大潟村通常総会	
7月	○不用衣料回収 ☆野菜栽培講習会	☆J A秋田女性協・家の光大会
8月	○炊き出し講習会	○秋田県地域婦人会大会
9月	○移動研修	
10月		
11月	☆軽スポーツ大会 ・村づくり懇談会 ☆女性部研修 ○不用衣料回収	
12月	☆豆腐作り・加工実習 ・議会傍聴	
1月	☆リフレッシュ講座 ☆J A女性部懇談会 ☆J A役職員との懇談会	
2月	○村民と議員との懇談会 ☆○総会	

※大潟村定例議会傍聴（3月・6月・9月・12月）

（○女性部事業 ☆婦人会事業）

(3) 役員

会 長	藤 村 幸	会 計	板 垣 和 美
部 長	宮 川 清 子	監 事	山 本 嘉 子
副会・副部長	浮 田 順 子	〃	菅 原 高 嶺

7. 大潟村老人クラブ連合会

(1) 活動方針

健康・友愛・奉仕を基本とし、単位クラブとの連携を密にし、会員相互の親睦や明るく健康な生活と高齢者福祉向上のために村内関係機関・団体等との協調を図り、会員の資質の向上とボランティア活動を通し、地域の発展に寄与する。

(2) 事業計画

月	事業	備考	月	事業	備考
4月	役員会（必要に応じて随時） 中央・墓地花壇・柿の木の除草作業 各単位お花見 青パト巡回（毎月1回） 園芸福祉活動	ふれあい健康館 総務部 会員よりお手伝い	10月	赤い羽根共同募金運動 男鹿・潟上・南秋ブロック老連指導者研修会 秋田県老人クラブ連合会表彰授賞式 秋の紅葉研修旅行 柿の収穫作業	大潟村 秋田市
5月	役員会・生産部役員会（作業の段取り、講習等） 花壇の耕起及び柿の木の除草・草刈り作業（随時） 秋田県老人クラブ連合会理事会・評議員会	ふれあい健康館 秋田市	11月	地域支え合い活動リーダー研修会 大潟村社会福祉大会 第53回全国老人クラブ大会 高齢者学級 花壇清掃作業及び墓地公園落ち葉拾い作業 柿の木の剪定作業 第28回老人クラブ文化祭	仙北市・男鹿市・ 小坂町 ふれあい健康館 神奈川県 生産部 秋田市
6月	1円ポスト募金活動 市町村老連事務担当者会議 花壇花植え作業 春季グラウンドゴルフ・ポッチャ交流大会 男鹿・潟上・南秋ブロック老連連絡協議会 高齢者学級	秋田市 多目的運動広場 大潟村	12月	友愛交流活動 連合会忘年会	ふれあい健康館
7月	老連大学入学式 第47回福祉運動会 東北ブロック老人クラブリーダー研修会	秋田市 ふれあい健康館 秋田県	1月	第1回心の健康づくり教室 （保健センター主催）	ふれあい健康館
8月	単位クラブリーダー、若手リーダー研修会 墓地花壇清掃作業及び花壇草取り 高齢者学級		2月	市町村老連会長会議 冬季健康づくりグラウンドゴルフ交流会 第2回心の健康づくり教室 （保健センター主催） 市町村老連女性リーダー研修会・総会 お楽しみ健康カラオケ大会	秋田市 大館ドーム ふれあい健康館 秋田市 ポルダー潟の湯
9月	会員長寿の友愛訪問 敬老感謝一斉奉仕作業 秋季グラウンドゴルフ・ポッチャ交流大会 第6回秋田県高齢者グラウンドゴルフ 親睦交流大会	多目的運動広場 大仙市 太田奥羽GG	3月	男鹿・潟上・南秋ブロック老連連絡協議会 令和6年度会計監査及び役員会 秋田県老人クラブ連合会理事会・評議員会 第58回通常総会	大潟村 ふれあい健康館 秋田市 ふれあい健康館

(3) 役員

会長	工藤 強 (桜寿会)	生産副部長	高木 茂夫 (豊齢会)
副会長	櫻田 俊市 (東3丁目)	〃	谷 忠博 (豊齢会)
〃	橋本 美代子 (三和会)	〃	中原 康雄 (東3丁目)
総務部長	松橋 勝悦 (豊齢会)	文化部長	鈴木 隆二 (桜寿会)
総務副部長	斎藤 ミツ子 (豊齢会)	文化副部長	中島 トメ子 (青風会)
体育部長	寺田 純子 (東3丁目)	会計	森田 勝利 (三和会)
体育副部長	大澤 祝子 (青風会)	〃	三浦 サチ (桜寿会)
生産部長	富樫 春吉 (桜寿会)	監事	伊藤 功正 (青風会)
生産副部長	庄司 真幸 (青風会)	〃	金子 トヨ子 (三和会)
〃	樋岡 祥嗣 (三和会)	〃	浮田 英太郎 (東3丁目)

8. 大湊村耕心会

(1) 基本方針

耕心会は平成4年に設立されました。

今年度の事業については設立当初の基本方針を継承しながらも随時内容を充実して参ります。また、当会の目的であります明るく住みよい地域づくり、会員相互の親睦と生甲斐ある充実した生活を営むため、次の方針に基づき活動を推進する。

- ① 少子高齢化が進展するなか、社会保障制度全般に渡り見直しが行われております。私たちは学習会等を通じてその知識を高めるよう努めます。
- ② 会の持続的発展を期するため会員の新規加入の促進に努めます。
- ③ 生涯学習活動、ボランティア活動、会員及び世代間交流の推進に努めます。
- ④ 明るく住み良い農村社会を創造するため、村及び関係機関と連携し運動を推進します。

(2) 事業計画

- ① 会議の開催
- ② 事業実施計画の策定
- ③ 新規会員の加入促進
- ④ 生涯学習、親睦交流、ボランティア活動の推進
- ⑤ 景観作物栽培事業（村との委託契約）
- ⑥ 農地、水、環境保全管理活動の推進

(3) 月別実施計画

時期	事業内容	担当部	時期	事業内容	担当部
3月	通常総会	事務局（全体）	10月	新米祭り協力(ボランティア活動) 会員研修旅行	事務局（全体） 学習部
3月 ～12月	菜の花、ひまわり、そば及び コスモスの栽培管理	景観部	11月	収穫感謝祭及び秋季グラウンドゴルフ大会	親睦部
4月 ～11月	花壇作り (マリーゴールド、花菖蒲)	景観部	12月	忘年会	事務局（全体）
4月	菜の花ロードゴミ拾い (ボランティア活動)	景観部	令和7年 1月	女性部学習会実施 全体学習会及び懇談会実施(全会員対象) シルバー人材センターと共催	女性部 学習部
5月	菜の花祭り協力 (ボランティア活動)	景観・親睦部 女性部	2月	冬季ふるさと祭り協力 (ボランティア活動)	事務局（全体）
6月	マリーゴールド植栽 さなぶり及び春季グラウンドゴルフ大会 役員研修旅行	景観部（全体） 親睦部 学習部	随時	事務局、役員会議は必要に応じて開催 関係機関の要請により安全安心防犯パトロール 及び交通安全キャンペーン等への協力 農地・水・環境事業に参加 防災林等草刈り作業	全 体
8月	盆踊り大会への参加	女性部			

※尚、具体的な事業内容は、事業執行段階で役員に一任する

(4) 役員

会 長 工 藤 丈 夫
副 会 長 工 藤 善 一 郎
〃 森 田 聖 悦
景 観 部 長 伊 藤 由 起 夫
親 睦 部 長 工 藤 善 一 郎
女 性 部 長 北 條 二 十 四

事 務 局 長 芹 田 省 一
事 務 局 次 長 土 井 博 文
一 般 会 計 鎌 田 金 信
景 観 会 計 谷 口 良 一
監 事 高 階 満
〃 伊 藤 功 正

9. 大潟村子ども会育成連絡協議会

(1) 活動方針

子ども会組織相互の緊密な連携のもとに、子ども会の自主的な活動の支援と育成指導を通して、子どもたちの健全な育成と福祉の増進を図る。

(2) 事業計画

月 日	事 業 名	場 所	備 考
6月下旬	世話人会（第1回）	公 民 館	
7月中旬	世話人会（第2回）	公 民 館	
7月下旬	子どもなかよし館夏祭り	な か よ し 館	教育委員会事業への協力
	キャンプ	（ 未 定 ）	きらきら塾事業
8月	社会見学	（ 未 定 ）	
8月下旬	世話人会（第3回）	公 民 館	
9月10日	大潟神社奉納ちびっ子相撲大会	村 民 相 撲 場	
11月中旬	世話人会（第4回）	公 民 館	
12月初旬	スケート教室	県立スケート場	きらきら塾事業
12月中旬	冬季ふるさと祭り実行委員会①	公 民 館	
1月中旬	冬季ふるさと祭り実行委員会②	公 民 館	
2月2日	冬季ふるさと祭り	村民体育館周辺	
2月上旬	冬季ふるさと祭り実行委員会③	公 民 館	
2月中旬	会計監査	公 民 館	
3月中旬	定例総会	（ 未 定 ）	

【役員会】随時開催

(3) 役 員

会 長	青 柳 佑 宜
副 会 長	佐 藤 貞 之 ・ 尾 崎 正 春
会 計	花 塚 雅 人
監 事	森 田 聖 基 ・ 黒 瀬 友 基
相 談 役	遠 藤 暁
幹 事 長	椎 川 健 一

10. 大潟村高校生をもつ保護者の会

(1) 活動方針

高校生をもつ保護者で構成し、研修会や情報交換等を通し、地域高校生の生活の充実と健全育成に寄与することを目的とする。

(2) 事業計画

月 日	事業名	事業内容	場 所
6月下旬	住区役員会	新年度事業について	公 民 館
8月上旬	ボランティア活動	高校生と保護者を対象としたボランティア活動	未 定
8月下旬	第1回研修会	移動研修 ※家庭教育学級（小中高編）と合同開催	未 定
12月頃	マイタウンバスアンケート	マイタウンバスの利用に関するアンケート配布	
2月2日	冬季ふるさと祭り	冬季ふるさと祭りにおける綱引き大会協力	
2月上旬	第1回役員会	卒業生を祝う会について	公 民 館
3月上旬	第2回役員会	卒業生を祝う会について	公 民 館
	卒業生を祝う会	情報交換など (対象者 大潟中54期生 32名)	ポ ル ダ ー 潟 の 湯
3月中旬	会計監査	令和6年度会計監査	
	第3回役員会	(1)令和6年度事業報告及び収支決算について (2)令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について	公 民 館
3月下旬	総会	(1)令和6年度事業報告及び収支決算について (2)令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について (3)新住区委員の報告について (4)役員改選について	公 民 館

※必要に応じて役員会随時

※冬季ふるさと祭り実行委員会会長出席(3回)

(3) 役 員

会 長	吉 原 忍
副 会 長	米 谷 雄 人 ・ 澤田石 昌 文
会 計 事	川 北 美 里
監 事	佐々木 修 ・ 川 村 学

11. 大潟村芸術文化協会

(1) 活動方針

芸文協加盟団体の啓発・連携と会員相互の親睦を図りながら、ふるさと意識や郷土愛を育むとともに、芸術文化の発展と向上に努める。

(2) 事業

- ・ 2月22～23日 第46回芸文祭 ・ 芸文表彰（サンルーラル大潟）
- ・ 3月中旬 会報「芸文大潟41号」の発行

(3) 役員

会 長	大 内 一 弘	幹 事 (会)	今 野 サト子
副 会 長	小 野 学	幹 事 (事)	佐 藤 千 穂
〃	鎌 田 真理子	顧 問	進 藤 栄 一
会 計	大 沼 猛	〃	三 浦 智
事 務 局 長	田 中 郁 子		
監 事	工 藤 善 一 郎		
〃	牧 野 良 子		

※幹事の（会）は会計補佐、（事）は事務局補佐

(4) 加盟団体

No.	団 体 名	代表者名	No.	団 体 名	代表者名
1	書 道 同 好 会	小 松 稔	13	大 潟 村 川 柳 俱 楽 部	宮 田 善 拓
2	湖 踊 会 (民 踊 舞 踊)	松 崎 信 子	14	文 化 箏 (花 かげ 会)	坂 口 芳 子
3	コ ー ル か ざ は な	宮 崎 和 子	15	華 箏 会	田 中 郁 子
4	人 形 劇 同 好 会 「八 郎」	佐 藤 千 穂	16	俳 句 り ん ど う の 会	田 村 陽 子
5	白 鳥 短 歌 会	大 川 澄 雄	17	フ ラ サ ー ク ル ・ プ ア レ ア	池 田 栄 子
6	大 潟 吟 詠 会	工 藤 善 一 郎	18	水 彩 画 教 室	鎌 田 真 理 子
7	箏 曲 正 絃 社	佐 藤 節 子	19	劇 団 「 我 楽 田 」	佐 藤 正 之
8	華 道 池 坊 田 村 教 室	田 村 陽 子	20	奇 術 研 究 会	小 野 学
9	大 潟 村 写 真 ク ラ ブ	小 林 義 男	21	大 潟 村 ゴ ス ペ ル ク ワ イ ア	三 浦 早 苗
10	八 郎 太 鼓 龍 勢 会	谷 口 拓 也	22	ハ ー モ ニ ッ ク 大 潟	富 田 博 文
11	琴 修 会 大 正 琴 サ ン フ ラ ワ ー	安 部 勝 子	23	鎌 田 久 美 子 バ レ エ ス タ ジ オ 大 潟 教 室	鎌 田 久 美 子
12	拓 邑 俳 句 会	池 田 郷 太 郎			

23団体 212名

12. 大潟村スポーツ協会

(1) 活動方針

生涯スポーツの振興に寄与するとともに、加盟団体の育成強化と地域スポーツクラブ活動の推進を図る。

(2) 事業

- ・各種スポーツ大会の開催と選手派遣
- ・審判員の養成と確保
- ・定期的スポーツ活動の促進
- ・団体育成強化

(3) 役員

会 長	佐 藤 正 之	事務局 長	佐 藤 友 能
副 会 長	高 木 茂 之	事務局次長	山 田 雄 大
◇	澤田石 昌 文	会 計	岩 井 悠 宇
理 事 長	伊 藤 隆	監 事	鈴 木 太
副 理 事 長	松 橋 拓 郎	◇	日 諸 英 升

(4) 加盟団体

No.	団 体 名	会 長 名	No.	団 体 名	会 長 名
1	大潟村野球協会	鈴木進一	10	大潟ローイングクラブ	松橋拓郎
2	大潟村卓球協会	鎌田鐵也	11	大潟村バドミントン同好会	小澤透
3	大潟村ソフトボール協会	佐藤壽作	12	大潟村相撲連盟	丹野敏彦
4	大潟バレーボールクラブ	中原裕美	13	大潟村ゴルフ協会	北條友紀
5	大潟村山友会	小玉弘孝	14	大潟村グラウンドゴルフ愛好会	村上勉
6	大潟村走ろう会	武田泰斗	15	大潟ボウラーズクラブ	和田肇
7	大潟ソフトテニスクラブ	浮田英太郎	16	大潟村スイミングクラブ	三浦久樹
8	大潟スキークラブ	工藤祐一	17	大潟村ミニテニス愛好会	三浦松之
9	大潟村剣友会	栗田英幸			

13. 大潟村スポーツ少年団

(1) 活動方針

日本スポーツ少年団の目的に従い、スポーツ少年団の普及と育成及び身体活動の活発化を図り、青少年の心身の健全な育成に努める。

(2) 事業

- ・スポーツ少年団の育成計画の策定
- ・各種スポーツ活動の推進と奉仕活動
- ・指導者及びリーダーの養成と活用
- ・体力測定を含む普及指導
- ・交流事業の推進と啓発
- ・指導者と父母の会との交流

(3) 役員

本部長	馬場 晶 寛	(ラグビースポ少)
副本部長	曾我 昌 弘	(複合型スポ少)
〃	櫻田 宏 誠	(複合型スポ少)
会計	伊藤 拓 真	(ラグビースポ少)
監事	真坂 和 博	(女子ミニバススポ少)
〃	小玉 拓	(野球スポ少)

(4) 加盟団体

No.	単 位 団 名	代表指導者名
1	大潟ラグビースポーツ少年団	佐藤 正之
2	大潟小野球スポーツ少年団	小玉 拓
3	大潟女子ミニバスケットボールスポーツ少年団	真坂 和博
4	大潟村剣道スポーツ少年団	伊藤 一孝
5	大潟ジュニアスキースポーツ少年団	村上 直樹
6	大潟卓球クラブスポーツ少年団	鎌田 鐵也
7	大潟村複合型スポーツ少年団	馬場 晶寛

14. NPO法人スポーレおおがた

(1) 活動方針

年齢問わず、誰もが気軽に参加できる生涯スポーツ環境を目指し、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりを進めます。

そして、人と人との絆を深め、地域づくりに貢献します。

(2) 事業

- ・スポーツ及びレクリエーションにより体力と健康増進
- ・会員の親睦と地域交流
- ・各種スポーツ教室を開催しスポーツの普及を図る
- ・ジュニアスポーツの普及育成を図る

(3) 役員

理事長	近藤 守夫	理事	石田 美知子
副理事長	佐藤 正之	〃	齊藤 明裕
〃	鎌田 満広	〃	小澤 美智子
理事	三留 達也	〃	佐野 潤
〃	工藤 兼雄	〃	大澤 祝子
〃	福田 政美	監事	曾我 昌弘
〃	炭元 サダヲ	〃	仲村 耕太
〃	一色田 純一	顧問	中村 昇
〃	清塚 砂恵子		
〃	小野 友義		
〃	澤田石 昌文		
〃	小玉 弘孝		

15. スポーツコミッションおおがた

(1) 活動方針

大潟村の豊かな自然や立地条件、全国的にも珍しいソーラースポーツライン等のスポーツ資源を積極的に活用することで、スポーツ観光交流人口の拡大や地域経済の波及を図る。

(2) 事業

- ・スポーツ大会やスポーツイベント等の誘致・開催に関すること。
- ・スポーツ合宿等の誘致・支援に関すること。
- ・スポーツ・観光・農業体験を通じた地域経済の活性化に関すること。
- ・村内スポーツ・観光イベントについての情報発信に関すること。
- ・その他コミッションの目的を達成するために必要な事業に関すること。

(3) 組織体制

スポーツコミッションおおがた運営委員会

会 長	齊 藤 明 裕	委 員	津 島 弘 延
副 会 長	一 色 田 純 一	〃	本 庄 渉
委 員	松 橋 拓 郎	監 事	佐 野 麻 寿 美
〃	池 田 昌 弘	〃	宮 田 雅 人 (教育次長)

顧 問

大潟村長	高 橋 浩 人
大潟村教育委員会 教育長	三 浦 智
秋田県水上スキー連盟 会長	杉 渕 正 英
秋田県ボート協会 会長	小 林 新
大潟村スポーツ協会 会長	佐 藤 正 之

アドバイザー

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 事務局長	中 山 哲 郎
NPO法人 スポーレおおがた 理事長	近 藤 守 夫
株式会社ルーラル大潟 総支配人	安 岡 亜 里 紗



諸 資 料

1. 教育委員会
2. 生涯学習・社会教育委員等
3. 生涯学習・社会教育施設の利用状況
4. 大潟村生涯学習関係設置要項
5. バス研修事業費補助金交付要綱
6. 教育委員会事務分担表



野鳥観察会



高校生をもつ保護者の会 清掃ボランティア



成人文化講座わらび座観劇



高齢者学級「上野泰夫氏講話」

1. 教育委員会

教 育 長	三 浦 智
教育長職務代理者	森 本 哲 哉
委 員	宮 崎 和 子
委 員	清 塚 砂 恵 子
委 員	桑 原 康 成

2. 生涯学習・社会教育委員等

(1) 生涯学習推進本部

本 部 長	村 長	高 橋 浩 人
副 本 部 長	副 村 長	工 藤 敏 行
事 務 局 長	教 育 長	三 浦 智
事 務 局 次 長	教 育 次 長	宮 田 雅 人
局 員	主 任	薄 田 穰
局 員	主 事	竹 田 美 輝

(2) 奨 励 室

室 長	三 浦 智
室 長 代 理	宮 田 雅 人
相 談 員	薄 田 穰
相 談 員	竹 田 美 輝
奨 励 員	(64ページ参照)

(3) 社会教育委員 (任期：令和6.4.1～令和8.3.31)

一色田 純 一	社会教育関係者
大 畑 和 子	社会教育関係者
高 階 恵 里	社会教育関係者
信 太 裕 子	社会教育関係者
石 原 敏 子	社会教育関係者
嘉 村 聖 子	社会教育関係者
佐 藤 正 之	社会教育関係者

(4) 干拓博物館協議会委員 (任期：令和6.4.1～令和8.3.31)

石原敏子	大潟村案内ボランティアの会会長
今野克久	コガムシの会会長
小林義男	大潟村写真クラブ会長
加賀谷久志	大潟村立大潟小学校長
小玉克男	大潟村立大潟中学校長
藤村幸	婦人会会長
進藤栄一	大潟村芸術文化協会顧問
堤朗	大潟の自然を愛する会会長
坂本みほ子	人形劇同好会「八郎」
藤原尚彦	秋田県立博物館主査兼学芸主事
青柳佑宜	大潟村子ども会育成連絡協議会
大沼葉子	大潟村生涯学習奨励員協議会

(5) きらきら塾実行委員 (任期：令和6.4.1～令和7.3.31)

山本真喜子	生活学校
一ノ関貢子	裏千家お茶愛好会
中山美恵子	図書ボランティア(コロポックル)
伊藤博	大潟村木炭水質浄化研究会
堤朗	大潟の自然を愛する会
小玉弘孝	山友会
青柳佑宜	子ども会育成連絡協議会
大島翔平	スポーツ推進委員
大沼葉子	生涯学習奨励員
今井泰子	七宝焼き同好会
鎌田俊夫	絵画指導員
丹野敏彦	相撲教室
角田伸一	大潟共生自然エネルギー
森田千尋	Sunny Side English School
藤田勉	大潟村注連縄技術保存会
坂本みほ子	切り絵教室
今野いずみ	人形劇同好会「八郎」
丹野あすか	地域・園・学校協働活動推進員
加藤紀美子	協働活動サポーター
	協働活動サポーター

(6) **スポーツ推進委員** (任期：令和5.4.1～令和7.3.31)

三留達也	陸上(委員長)	樋熊未来	ダンス
清塚砂恵子	スキー・ボート(副委員長)	大島翔平	野球・ボート
一色田純一	野球・ミニテニス(副委員長)	千代静恵	バスケット
大澤祝子	ソフトボール・ミニテニス	本間久毅	野球
佐野潤	弓道・スポーツ吹矢	白戸直美	卓球・スキー
小野友義	野球	鎌田真紀子	バスケット・バレーボール
山本竜平	野球・ミニテニス	三浦伸洋	野球・陸上
仲村耕太	野球		

(7) **生涯学習奨励員** (任期：令和6.4.1～令和8.3.31)

大沼葉子	婦人教育(会長)	石川桃子	青少年教育
嘉村聖子	婦人教育(副会長)	三浦早苗	青少年教育
池田栄子	婦人教育(副会長)	木村愛希	青少年教育
藤村幸	婦人教育	武田泰斗	青少年教育
菅原靖子	青少年教育	田口雄大	青少年教育
佐藤悦子	青少年教育	馬場将之	青少年教育

3. 生涯学習・社会教育施設の利用状況

(1) 公民館利用状況

年 度	開館日数	団体利用回数	団体利用者数	一般利用者数	一日平均利用者数
平成22年度	359 日	634 回	8,398 人	2,832 人	31 人
平成23年度	360	678	7,823	2,420	28
平成24年度	360	587	7,731	2,393	28
平成25年度	306	511	7,033	2,459	31
平成26年度	308	613	8,739	2,547	30
平成27年度	309	902	9,032	3,103	39
平成28年度	308	910	8,635	3,937	40
平成29年度	309	1,030	8,520	3,504	39
平成30年度	308	910	8,635	3,973	41
令和元年度	308	918	6,707	3,410	32
令和2年度	307	836	5,446	1,916	24
令和3年度	307	830	5,368	1,587	22
令和4年度	309	902	5,641	1,754	24
令和5年度	312	749	5,387	2,029	24

(2) バス研修事業費利用状況

年 度	利用団体数	補 助 額	県 内	県 外
平成30年度	21 団体	2,210,000 円	13 団体	8 団体
令和元年度	22	2,110,000	17	5
令和2年度	17	1,663,000	14	3
令和3年度	16	1,226,000	12	4
令和4年度	25	2,117,000	19	6
令和5年度	25	2,488,000	19	6

(3) テニスコート利用状況

年 度	開場日数	団 体 利 用 者 数			個 人 利 用 者 数		合 計	1日当たり利用者数
		村 内	村 外	村内と村外	村 内	村 外		
平成21年度	114日	467人	243人	60人	97人	34人	901人	7.9人
平成22年度	94	384	310	41	73	27	835	8.7
平成23年度	110	270	484	20	100	57	931	8.4
平成24年度	118	380	302	18	39	105	844	7.2
平成25年度	92	202	257	0	31	294	784	8.5
平成26年度	99	448	77	30	60	228	843	8.5
平成27年度	133	515	78	27	179	53	852	8.6
平成28年度	116	353	51	20	309	72	805	6.9
平成29年度	97	59	15	10	184	144	412	4.2
平成30年度	71	10	177	0	127	51	365	5.1
令和元年度	67	10	325	0	35	120	490	7.3
令和2年度	25	0	100	20	12	57	189	7.6
令和3年度	41	20	331	0	35	36	422	10.2
令和4年度	89	74	593	0	54	75	796	8.9
令和5年度	82	39	51	0	144	316	550	6.7

(4) 野球場利用状況

年 度	利用 日数	村内団体		村外団体		村内と村外団体		利用者 合 計	1日当たり 利用者数
		団体数	人 数	団体数	人 数	団体数	人 数		
平成21年度	90 ^日	108	1,651 ^人	36	910 ^人	98	2,525 ^人	5,086 ^人	56.2 ^人
平成22年度	95	116	2,088	40	853	75	2,020	4,961	52.2
平成23年度	92	97	1,531	42	819	82	2,060	4,410	47.8
平成24年度	102	104	1,730	18	450	128	3,015	5,195	50.9
平成25年度	105	129	2,342	15	395	93	2,667	5,404	51.5
平成26年度	110	129	2,112	20	575	120	3,325	6,012	54.7
平成27年度	165	312	2,753	11	287	65	1,700	4,860	29.5
平成28年度	154	182	2,654	2	40	59	1,400	4,145	26.9
平成29年度	150	180	2,769	0	0	27	510	3,279	21.8
平成30年度	123	170	2,260	20	750	99	2,355	5,365	43.6
令和元年度	116	131	1,862	47	1,060	53	1,479	4,401	37.9
令和2年度	90	97	1,375	17	313	36	657	2,343	26.1
令和3年度	119	103	1,263	32	738	38	745	2,746	23.0
令和4年度	85	99	1,078	22	457	50	990	2,525	29.7
令和5年度	74	75	759	31	645	32	580	1,984	26.8

(5) 体育館利用状況

年 度	開館 日数	体 育 館			会 議 室		ス テ ー ジ		全 館		利用者 数合計	1 日 平均利 用者数
		利用 回数	団体利 用者数	個人利 用者数	回数	利用 者数	回数	利用 者数	利用 回数	利用 者数		
平成21年度	323 ^日	1,209 ^回	14,154 ^人	1,510 ^人	43 ^回	419 ^人	26 ^回	265 ^人	19 ^回	3,336 ^人	19,684 ^人	60.9 ^人
平成22年度	331	1,188	14,482	1,467	11	135	33	320	23	4,706	21,110	63.8
平成23年度	332	1,172	14,519	1,919	10	105	35	301	28	4,674	21,518	62.9
平成24年度	330	1,244	14,421	2,134	17	214	63	554	26	4,423	21,746	65.8
平成25年度	330	1,308	15,867	1,582	12	121	55	522	20	3,570	21,662	65.6
平成26年度	326	1,166	13,869	1,712	25	256	44	412	32	6,875	23,124	70.9
平成27年度	334	1,345	17,852	1,652	24	169	35	309	15	1,715	21,697	65.0
平成28年度	291	994	9,298	1,121	3	15	44	392	63	7,459	18,285	62.8
平成29年度	328	1,040	10,614	2,210	6	59	32	253	57	6,044	19,182	58.5
平成30年度	329	941	15,345	2,882	9	112	47	285	18	4,508	23,132	70.3
令和元年度	329	816	13,610	3,439	11	124	38	356	21	3,799	21,328	64.8
令和2年度	301	812	13,116	3,107	10	96	20	213	1	45	16,557	55.1
令和3年度	317	750	10,892	3,069	6	85	24	233	9	941	15,220	48.0
令和4年度	328	737	12,119	3,135	6	54	34	276	20	2,395	17,979	54.8
令和5年度	329	729	13,709	2,368	2	22	62	364	7	1,350	17,697	53.8

(6) 体育館個人利用状況

年 度	利用日数	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	男	女	総数	1日平均利用者数
平成21年度	323 ^日	79 ^人	371 ^人	197 ^人	508 ^人	355 ^人	1,044 ^人	466 ^人	1,510 ^人	4.6 ^人
平成22年度	331	66	374	274	340	413	1,084	383	1,467	4.4
平成23年度	332	103	470	509	266	571	1,414	505	1,919	5.7
平成24年度	330	67	508	554	382	623	1,308	826	2,134	6.4
平成25年度	330	51	410	335	313	473	1,100	482	1,582	4.8
平成26年度	326	43	358	406	293	612	1,235	477	1,712	5.2
平成27年度	334	64	323	466	207	644	1,210	494	1,704	5.1
平成28年度	291	55	270	331	113	301	796	334	1,130	2.2
平成29年度	328	54	525	872	124	635	1,636	574	2,210	6.7
平成30年度	329	135	905	771	158	913	1,809	1,073	2,882	8.8
令和元年度	329	46	890	1,297	284	922	2,262	1,177	3,439	10.5
令和2年度	301	57	851	993	223	983	1,937	1,170	3,107	10.3
令和3年度	317	71	1,042	700	146	1,110	1,551	1,518	3,069	9.7
令和4年度	328	95	853	954	193	1,040	1,798	1,337	3,135	9.6
令和5年度	329	75	572	767	99	855	1,362	1,006	2,368	7.2

(7) B & G海洋センター利用状況

年 度	開館日数	利 用 状 況				合 計
		水泳大会	各種教室	学校開放	一般開放	
平成21年度	62 ^日	51 ^人	304 ^人	1,595 ^人	3,807 ^人	5,757 (6月～9月) ^人
平成22年度	69	36	231	2,328	4,065	6,660 (6月～9月)
平成23年度	68	54	373	2,256	3,987	6,670 (6月～9月)
平成24年度	75	37	1,159	1,891	3,091	6,178 (6月～9月)
平成25年度	72	27	632	1,908	3,258	5,825 (6月～9月)
平成26年度	77	37	578	2,343	3,196	6,154 (6月～9月)
平成27年度	72	50	686	1,791	2,329	4,856 (6月～9月)
平成28年度	72	31	640	2,027	2,097	4,795 (6月～9月)
平成29年度	76	55	503	1,951	2,017	4,526 (6月～9月)
平成30年度	61	59	547	1,683	1,712	4,001 (6月～9月)
令和元年度	66	67	458	1,918	2,081	4,590 (6月～9月)
令和2年度	59	88	192	558	1,930	2,768 (6月～9月)
令和3年度	65	47	346	1,464	2,115	3,972 (7月～9月)
令和4年度	60	48	343	1,048	1,762	3,201 (7月～9月)
令和5年度	61	42	268	1,438	2,262	4,010 (7月～9月)

(8) 多目的運動広場利用状況

年度	総利用者数			一般利用者数			減免利用者数			月平均 人数
	大人	子供	合計	大人	子供	合計	大人	子供	合計	
21	34,824	553	35,377	33,059	489	33,548	1,765	64	1,829	3,538(10ヵ月)
22	32,774	422	33,196	31,060	349	31,409	1,714	73	1,787	3,320(10ヵ月)
23	32,316	392	32,708	30,955	321	31,276	1,361	71	1,432	2,973(11ヵ月)
24	28,776	339	29,115	27,711	234	27,945	1,065	105	1,170	2,912(10ヵ月)
25	25,571	230	25,801	24,400	189	24,589	1,171	41	1,212	2,580(10ヵ月)
26	24,393	308	24,701	23,397	269	23,666	996	39	1,035	2,470(10ヵ月)
27	25,704	279	25,983	24,682	250	24,932	1,022	29	1,051	2,570(10ヶ月)
28	21,295	233	21,528	20,543	184	20,727	752	49	801	2,366(10ヶ月)
29	22,292	240	22,532	21,308	179	21,487	984	61	1,045	2,253(10ヶ月)
30	20,085	169	20,254	19,202	140	19,342	883	29	912	2,025(10ヶ月)
令和元年	20,016	175	20,191	19,077	175	19,252	939	0	939	2,019(10ヶ月)
令和2年	16,896	70	16,966	16,078	57	16,135	818	13	831	1,696(10ヶ月)
令和3年	16,710	116	16,826	15,925	57	15,982	785	59	844	1,682(10ヶ月)
令和4年	17,171	54	17,225	16,460	51	16,511	711	3	714	1,722(10ヶ月)
令和5年	13,434	40	13,474	12,942	39	12,981	492	1	493	1,347(10ヶ月)

(9) 多目的グラウンド（サッカー・ラグビー場）利用状況

年 度	村内利用者	村外利用者	村内外利用者	総利用者数
平成21年度	351人	1,169人	0人	1,520人
平成22年度	35	1,609	0	1,644
平成23年度	0	1,405	0	1,405
平成25年度	410	4,173	61	4,644
平成26年度	0	3,253	17	3,350
平成27年度	0	3,279	0	3,279
平成28年度	0	2,071	0	2,071
平成29年度	0	2,596	97	2,693
平成30年度	0	2,875	80	2,955
令和元年度	0	1,685	145	1,830
令和2年度	21	2,185	0	2,206
令和3年度	0	3,245	0	3,245
令和4年度	0	1,721	112	1,833
令和5年度	0	1,968	0	1,968

※平成23年7月から平成25年3月まで芝張り工事により閉鎖

(10) 大瀧村干拓博物館

①年度別利用状況

年 度	個人利用者		団体利用者		減免利用者		小 計		合 計
	大 人	子 供	大 人	子 供	大 人	子 供	大 人	子 供	
平成24年度	5,375 ^人	233 ^人	3,940 ^人	535 ^人	12,572 ^人	1,836 ^人	21,887 ^人	2,604 ^人	24,491 ^人
平成25年度	4,943	158	2,780	593	11,931	1,888	19,654	2,639	22,293
平成26年度	6,156	207	3,735	699	14,026	1,954	23,917	2,860	26,777
平成27年度	5,233	239	2,191	671	12,196	2,048	19,620	2,958	22,578
平成28年度	5,406	135	2,209	19	10,124	2,375	17,999	2,529	20,528
平成29年度	5,283	119	2,129	3	9,619	2,201	17,031	2,323	19,354
平成30年度	4,768	152	1,837	11	14,122	2,363	20,727	2,526	23,253
令和元年度	4,804	163	1,556	4	10,993	2,140	17,353	2,307	19,660
令和2年度	3,354	131	91	1	2,199	1,175	5,644	1,307	6,951
令和3年度	4,504	243	314	1	2,227	1,769	7,045	2,013	9,058
令和4年度	5,791	252	466	0	1,866	1,306	8,123	1,558	9,681
令和5年度	5,682	170	1,100	18	5,785	1,745	12,567	1,933	14,500

②令和5年度の実績

【月別利用者数】

月	個人利用者		団体利用者		減免利用者		小 計		合 計
	大 人	子 供	大 人	子 供	大 人	子 供	大 人	子 供	
4	590 ^人	32 ^人	38 ^人	0 ^人	932 ^人	148 ^人	1,560 ^人	180 ^人	1,740 ^人
5	508	8	0	0	1,290	506	1,798	514	2,312
6	658	10	290	0	225	329	1,173	339	1,512
7	481	13	268	0	133	81	882	94	976
8	1067	7	146	0	1,080	232	2,293	239	2,532
9	710	16	140	0	114	118	964	134	1,098
10	669	16	84	18	169	17	922	51	973
11	641	17	108	0	189	178	938	195	1,133
12	0	0	0	0	560	25	560	25	585
1	0	0	0	0	347	26	347	26	373
2	0	0	0	0	670	80	670	80	750
3	358	51	26	0	76	5	460	56	516
合計	5,682	170	1,100	18	5,785	1,745	12,567	1,933	14,500

【企画展示】

内 容	実施日	期間中来館者
木村秀吾写真展～日本の美しさを探す旅～	4/28～6/30	4,229人
大瀧村芸文祭創作作品展～昇龍の志新たに～	3/8～3/28	324人

【博物館教室等】

事業名	実施日	参加者
GW親子科学工作教室	4 / 28 ~ 4 / 30	32人
自然観察会 田んぼの生きもの観察会	7 / 2	20人
自然観察会 『おおがたむらのいきものかんさつ』	9 / 3	5人
自然観察会 「星空観望会」	中止	
工作教室 「理科教材であそぼう！」	11 / 5	8人
冬鳥観察会	11 / 26	9人
工作教室「月齢早見盤をつくろう」	11 / 26	12人

【大潟村案内ボランティアの養成と学習支援】

事業名	実施日	参加者
【案内】GW村内バスツアー	4 / 28 ~ 4 / 30	38人
【学習会】案内ボランティア学習会	3 / 6	15人
【勉強会】男鹿ガイドの会・案内ボランティア合同勉強会	12 / 17	10人
【勉強会】案内ボランティアの会視察研修	11 / 2	11人

【その他】

事業名	実施日
・博物館広報の発行	3 / 15
・記録映画の村内貸し出し	随時
・資料貸し出し	随時

4. 大湊村生涯学習関係設置要項

(1) 大湊村生涯学習推進本部設置要項

① 設 置

村民の生涯学習に対する意見や要望を取り入れ、村民福祉の向上と豊かな村づくり実現のため、村の各機関が実施する教育事業を総合的に企画調整し、生涯学習を効果的に推進するため、生涯学習推進本部（以下「本部」という。）を設置する。

② 組織及び役割分担

- 1) 本部は本部長及び副本部長、事務局長を持って構成する。
- 2) 本部長は村長とする。
- 3) 副本部長は本部長が委嘱する。
- 4) 本部長は生涯学習推進に必要な施策を総理する。
- 5) 副本部長は本部長を補佐し、事故あるときは、職務を代理する。
- 6) 本部の事務処理のため、事務局を置き、事務局長は教育長とし、事務局次長は教育次長とする。

③ 生涯学習奨励室

生涯学習推進本部が、その機能を十分発揮できる現業機関として生涯学習奨励室を設置する。

生涯学習奨励室については、別に設置要項を作り奨励業務を行う。

④ 生涯学習奨励員

村民の学習活動を奨励援助し、生涯学習の推進充実を図るため、学習上の情報や資料提供を行う。

⑤ 生涯学習推進員

地域住民に広く浸透させるとともに学習意欲を喚起し、生涯学習の充実発展を図る。



(2) 大潟村生涯学習奨励室設置運営要項

① 趣 旨

生涯学習を推進する現業機構として、村民の学習要望に応えるための村民と行政の接点として、大潟村生涯学習推進本部の中に生涯学習奨励室（以下「奨励室」という。）を設置する。

② 目 的

奨励室は、一人一学習の推進を図るための拠点として、生涯学習に関するあらゆる相談に応じ、行政機能及び社会資源を効果的に活用して適切な奨励助言を行うとともに、生涯学習の推進に関する情報の収集、提供等の諸事業を実施して、生涯学習の充実強化を図ることを目的とする。

③ 設置の場所

奨励室を大潟村公民館に置く。

④ 運営と職員

1) 奨励室を運営するために、次の職員を配置する。

室 長	1名	室長代理	1名
相談員	若干名	奨 励 員	13名

2) 職員は、本部長（村長）が委嘱する。

3) 職員は、村民に対して、懇切丁寧に接し、村民の要望に関して適切な方法と解説が得られるよう努めなければならない。

⑤ 奨励室運営協議会

奨励室に運営協議会を設置して奨励室の運営について協議する。

⑥ 奨励室の業務

奨励室における基本的な担当業務は、次のとおりとする。

1) 生涯学習に関する相談業務

- 教育的な業務に関する要望相談
- 村民の生涯学習に関する相談
- 趣味、同好グループに関する相談

2) 生涯学習の奨励普及に関する相談

- 生涯学習推進の気運を醸成するための業務
- 村民の自発的な学習を援助、奨励するための業務
- 生涯学習に関する情報の収集、提供並びに指導者の養成のための業務

3) その他

職員（奨励員を含む。）並びに教育ボランティアの活動拠点とする事業を行い、村民サイドにおけるネットワークを形成するための業務



(3) 大潟村生涯学習奨励員設置要項

① 趣 旨

村民の学習活動を奨励し、生涯学習の推進充実を図るため、大潟村生涯学習推進奨励員（以下「奨励員」という。）を置く。

② 委嘱条件

- 1) 地域や社会教育団体等において活動していること。
- 2) 奉仕活動の意欲を持っていること。
- 3) 学習に役立つ特技を持っていること。

③ 奨励員の任務

- 1) 地域住民の学習意欲を喚起する。
- 2) 特技をとおして学習活動を援助する。
- 3) 学習希望者の組織活動を援助する。
- 4) 学習上の相談に応ずる。
- 5) 学習情報や資料を提供する。

④ 奨励員の活動

- 1) 奨励員の活動は、主として大潟村で行う。
- 2) 生涯学習推進機関と連携を図り、その要望に応じて活動する。
- 3) 地域、サークル等において活動する。

⑤ 委 嘱

大潟村生涯学習推進本部長が委嘱する。

⑥ 活動の経費

活動は、ボランティアの精神を基調としているが、年間少額の報償費を支給する。

⑦ 会 議

会議の細則について、別に定める。

⑧ 任 期

奨励員の任期は2年とし、再任を妨げない。



(4) 大潟村生涯学習奨励員協議会会則

(目 的)

第1条 この会は、大潟村の生涯学習担当機関と生涯学習奨励員（以下「奨励員」という。）との緊密な連携のもとに奨励員相互の親睦、交流による資質の向上を図り生涯学習の普及と充実に寄与することを目的とする。

(会の名称及び事務局)

第2条 この会は、大潟村生涯学習奨励員協議会と称し、事務局は、大潟村公民館内に置くものとする。

(事 業)

第3条 この会は、第1条に定める目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1) 生涯学習の奨励活動と情報交換
- 2) 奨励員の研究
- 3) その他、目的を達成するために必要な事業

(役員及び任期)

第4条 この会には、次の役員を置く。

- 1) 会 長 1名
- 2) 副会長 2名
- 2 会長及び副会長は協議会で選任する。
- 3 役員の任期は2年とし、再任は妨げない。
- 4 補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまで、その業務をおこなう。

(役員の仕事)

- 第5条 会長は会務を総括し、会を代表する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長が事故あるときは、この職務を代行する。
 - 3 副会長は、会の会計業務を兼務する。

(役員会)

- 第6条 役員会は、会長が必要に応じて招集する。
- 2 役員会の議長は会長とする。
 - 3 役員会は出席数に関係なく定刻に開くものとする。

(協議会)

- 第7条 協議会は、会長が必要に応じて招集する。
- 2 役員が必要と認めたときは、いつでも招集することができる。
 - 3 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

附 則

この会則は、昭和56年4月1日から施行する。
平成2年4月1日から施行する。
平成4年4月1日から施行する。
平成26年4月1日から施行する。
平成28年4月1日から施行する。
令和4年4月1日から施行する。

5. バス研修事業費補助金交付要綱

(1) バス研修事業費補助金交付要綱

(目 的)

第1条 この要綱は、社会教育、スポーツ団体等（以下「団体」という。）が研修を目的とし、移動にバス事業者のバスを借り上げた場合において、その費用の一部を補助することにより、大潟村における文化・スポーツ活動等の推進を図ることを目的とする。

(定 義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 研修 次のいずれかに該当する場合とする。
 - ①自らが主催し、村内外において知識や技能の修得、能力などを向上するために有識者の指導のもとに行う学習活動
 - ②国及び公共団体等が主催する大会、講演会、講習会、文化・スポーツ活動等への出演、または出場
 - ③単なる練習や視察ではなく、他団体と交流を行う場合
 - ④スポーツ少年団活動
- (2) 団体 法律が定めた法人格を持たない任意の団体
- (3) バス事業者 道路運送法（昭和26年法律第183号）第3条第1号口の一般貸切旅客自動車運送事業を営業者

(補助対象団体)

第3条 補助金の補助対象となる団体は、次の各号のとおりとする。

- (1) 村が補助金を交付している村内の任意団体及びその団体に加盟している団体
- (2) 教育文化活動並びにスポーツ振興のため特に必要な研修又は事業を行う団体
- (3) スポーツ少年団
- (4) その他教育長が特に認める団体

(補助対象経費)

- 第4条 補助金の対象経費は、団体の事業に要するバス借上料とする。但し、借上料には有料道路、高速料金及び駐車料金は含まないものとする。
- 2 補助対象は原則としてバス1台分とする。ただし、1回で2台以上使用した場合は2台とし、その場合の利用回数は2回とする。
 - 3 名称の異なる団体で同一の研修を行う場合は、それぞれの団体が研修を1回行ったものと見なし、補助対象は同一の団体の代表とする。
 - 4 研修の時間は、移動に要する時間を除き、1日あたり2時間以上を研修にあてるものとする。

(補助金の額)

- 第5条 補助金の額は、予算の範囲内で、補助対象経費の3分の2以内の額で9万3千円を上限とし、1団体あたりの利用回数は当該年度8回までとする。但し、スポーツ少年団については当該年度6回までとする。また1泊2日を超える場合は、上限額を18万6千円とする。この場合利用回数は2回とし、当該年度の利用回数に含むものとする。
- 2 前項の規定により算出した額に千円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。
 - 3 乗車人数により利用できるバスの種類は次の表のとおりとし、該当する人数を上回るバスを利用した場合にあっては、乗車人数のバス借上料を限度とする。

乗車人数	バスの種類
30人以上	大型バス
20人以上29人以下	中型バス
10人以上19人以下	小型バス(マイクロバス)

(補助対象の制限)

第6条 次の各号のいずれかに該当する事業等は、補助金の交付対象としないものとする。

- (1) 観光、親睦、娯楽、レクリエーションと認められる場合
- (2) 温泉等での慰安遊興を目的とした場合
- (3) 送迎、買い物等を目的とした場合
- (4) 営利または宗教、政治活動を目的とした場合
- (5) 乗車人員が9人以下の場合
- (6) 興行やイベントの観覧を目的とした場合
- (7) 各種スポーツ大会派遣費補助金の交付を受ける場合
- (8) その他目的に反している場合

(補助金の申請)

第7条 補助金の交付を受けようとする団体は、事業開始1月前までに補助金等申請書(以下「申請書」という。)(様式第1号)に関係書類添えて村長に提出するものとする。

- (1) 事業計画書(様式第2号)
- (2) 前号に掲げるもののほか、参考となる書類等

(交付決定等)

第8条 村長は申請書の提出があったときは、速やかに申請書を審査し、補助金を交付することが適当と認められるときは、申請団体に交付決定通知書(様式第3号)を通知するものとする。

(前金払)

第9条 団体は、補助金の交付決定後に事業を実施し、補助金の交付が必要であると認める時は、補助金の前払金をすることが出来る。

- 2 補助金の前金払を受けようとするときは、前金払交付申請書(様式第8号)を提出するものとする。
- 3 前金払いの決定をした場合通知するものとする。

(申請の変更又は取消)

第10条 団体は、申請した内容について変更又は取消しする必要が生じたときは、変更

(取消)申請書(様式第4号)をすみやかに村長に提出しなければならない。

(実績報告等)

第11条 補助金の交付決定を受けた申請者は、研修終了後、補助金実績報告書(様式第5号)に次の各号に掲げる書類を添えて村長に報告するとともに、補助金の交付を請求しなければならない。

- (1) 事業実施報告書(様式第6号)
- (2) 借上料の領収書
- (3) 参加者名簿(様式第7号)
- (4) 前号に掲げるもののほか、研修状況が分かる書類等

(返還等)

第12条 村長は、交付団体が次の各号にいずれかに該当すると認めるときは、補助金の一部又は全部について返還させることができる。

- (1) 補助金を他の目的に使用したとき
- (2) 提出書類の記載事項に虚偽があるとき
- (3) 補助事業等の施行方法が不適正であるとき

(事務の所管)

第13条 この補助金に係る事務は、教育委員会生涯学習班において処理するものとする。

(その他)

第14条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

この要綱は、平成27年10月1日から施行する。

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

この要綱は、平成29年4月3日から施行する。

この要綱は、平成30年4月2日から施行する。

6. 教育委員会事務分担表

教育長 三 浦 智
 教育次長 宮 田 雅 人 (兼) 公民館長・体育館長・B & G海洋センター所長
 ・教育長の命を受け事務を掌理し部下を指揮監督する

◎学校教育班

班(所属)名	職 名	氏 名	事 務 分 担		
学 校 教 育 班	主席次長補佐 (兼)学校教育班長 (兼)生涯学習班長	後藤 克司	1. 教育委員会の会議に関すること 2. 教育委員会所管に係る事務の管理及び執行状況の点検及び評価並びに公表に関すること 3. 教職員に関すること(県費教職員の人事) 4. 児童、生徒の就学、入学、転出入及び学級編制に関すること 5. 特別支援教育に関すること 6. 大潟村連携教育に関すること 7. コミュニティ・スクールに関すること 8. 学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導に関すること 9. 職員の任免、服務、その他人事に関すること(ALTを含む) 10. 学校教育における調査、統計に関すること 11. 学校の管理、運営に関すること 12. 校務支援システムに関すること 13. 教科用図書の採択及び給与に関すること 14. 小学校社会科副読本に関すること 15. 休日の部活動地域移行に関すること 16. 栄典事務に関すること		
			主任	佐藤 純子	1. 教育委員会所管に係る予算、経理及び決算に関すること(主:幼児教育、子育て支援) 2. 教育財産の管理並びに教育機関の設置、廃止に関すること 3. 学校給食(給食費)に関すること 4. 学校教育における調査、統計に関すること 5. こども園の管理、運営に関すること 6. 子ども・子育て支援に関すること 7. 放課後児童クラブの運営に関すること 8. 子どもなかよし館の運営に関すること 9. その他、他の班、担当に属さないこと
			主任	太田 翼	1. 教育委員会所管に係る予算、経理及び決算に関すること(主:小・中学校) 2. 教職員に関すること(県費教職員の服務) 3. 教育財産の管理に関すること(主:小・中学校) 4. 学校教育の教材、教具、設備の整備に関すること 5. 学校教育における調査、統計に関すること 6. 学校における保健、衛生に関すること 7. 学校給食(業務)に関すること 8. 教育資金に関すること 9. 就学支援に関すること 10. 奨学金貸与事業に関すること 11. 教育振興大会に関すること 12. 子ども海外交流事業に関すること 13. その他、他の班、担当に属さないこと

班(所属)名	職 名	氏 名	事 務 分 担
学 校 教 育 班	ICT支援員	三浦 鏡美	1. ICT教育の支援に関する事(小・中学校を兼ねる)
	メディア支援員	児玉 昌子	1. メディアセンターに関する事。
	事 務 員	西方真樹子	1. 庶務経理(学校教育)に関する事 2. 教科用図書に関する事 3. 公印の保管に関する事 4. 公文書の収受、発送及び保管その他文書に関する事 5. 学校教育班の事務補助に関する事
	放課後児童 クラブ支援員	千田 昭美	1. 放課後児童クラブに関する事 2. 子どもなかよし館に関する事 3. その他の補助業務に関する事(こども園含む)
	放課後児童 クラブ支援員	佐藤由美子	1. 放課後児童クラブに関する事 2. 子どもなかよし館に関する事 3. その他の補助業務に関する事(こども園含む)
	放課後児童 クラブ支援員	秋永 英里	1. 子どもなかよし館に関する事 2. 放課後児童クラブに関する事 3. その他の補助業務に関する事(こども園含む)
	放課後児童 クラブ支援員	山田 由紀	1. 放課後児童クラブに関する事 2. 子どもなかよし館に関する事 3. その他の補助業務に関する事(こども園含む)
小 学 校	校 務 員	岡山 一彦	1. 小学校の校務員業務に関する事 2. 小学校の管理並びに環境整備に関する事
	支 援 員	門脇 令子	1. 学習生活支援に関する事
	支 援 員	三浦 秋帆	1. 学習生活支援に関する事
	支 援 員	佐々木広美	1. 学習生活支援に関する事
	支 援 員	工藤 沙織	1. 学習生活支援に関する事
	支 援 員	大石 康子	1. 学習生活支援に関する事
	事 務 員	鈴木けさみ	1. 学習生活支援に関する事
中 学 校	校 務 員	佐々木重義	1. 中学校の校務員業務に関する事 2. 中学校の管理並びに環境整備に関する事
	支 援 員	平塚 千春	1. 学習生活支援に関する事
	支 援 員	田口 雄大	1. 学習生活支援に関する事
	支 援 員	鈴木 恵子	1. 学習生活支援に関する事
	事 務 員	千田さとみ	1. 中学校の庶務に関する事

◎生涯学習班

班名	職 名	氏 名	分 担 事 務
生涯学習班 (公民館)	主 任	薄田 穰	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯学習推進本部及び生涯学習奨励員に関する事 2. 生涯学習団体等の指導育成に関する事 (芸文協・耕心会・婦人会・フレッシュミズ・青年会・生活学校・子ども会・PTA連絡協議会・高校生をもつ保護者の会) 3. 成人、婦人及び青少年教育に関する事 4. 公民館講座及び学級(9-5-1事業)に関する事 5. 二十歳のつどいに関する事 6. 放課後子ども教室推進事業に関する事 7. 冊子「大潟村の教育」「大潟村生涯学習」「生涯学習だより」に関する事 8. バス研修事業費に関する事(副) 9. 男女共同参画事業に関する事 10. 青少年育成大潟村民会議に関する事 11. アリスの会(子育てボランティア)に関する事 12. 所掌事務に関する予算、経理及び決算に関する事 13. 所掌事務の調査、統計に関する事 14. その他生涯学習の振興に関する事
	主 事	竹田 美輝	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会教育委員に関する事 2. 公民館施設の管理に関する事 3. 冬季ふるさと祭りに関する事 4. 新生活運動及び花いっぱい運動に関する事 5. 公民館講座(9-5-2事業)に関する事 6. 所掌事務に関する予算、経理及び決算に関する事 7. 所掌事務の調査、統計に関する事 8. 情報発信に関する事 9. その他生涯学習の振興に関する事
	事 務 員	小玉 志保	<ol style="list-style-type: none"> 1. 庶務経理(生涯学習)に関する事 2. バス研修事業費に関する事(主) 3. 読書活動(図書)に関する事 4. 図書ボランティアに関する事 5. 子ども読書活動推進計画に関する事 6. 文書の收受・発送に関する事 7. 施設の利用調整に関する事 8. 生涯学習班の事務に関する事
	地域おこし協力隊	畠山 佳枝	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大潟村の野鳥や自然環境を中心とした情報発信に関する事 2. 施設の利用調整に関する事 3. 情報発信に関する事 4. その他生涯学習の振興に関する事
体 育 館	主 査	菅原 美子	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯スポーツの推進に関する事(主) 2. スポーツ施設の管理、運営に関する事 3. スポーツ関係の調査、統計に関する事 4. 所掌事務に関する予算、経理及び決算に関する事 5. その他生涯スポーツに関する事 6. 体育館の増改築に関する事 7. 相撲合宿に関する事 8. 令和6年度国民スポーツ大会東北ブロック大会兼第51回東北総合スポーツ大会(ローイング競技)に関する事 9. 体育館事業の情報発信に関する事

班名	職名	氏名	分担事務
体育館	事務員	吉田麻奈美	<ol style="list-style-type: none"> 1. 庶務経理（生涯スポーツ）に関する事 2. 各種スポーツ大会の開催に関する事（副） 3. スポーツコミッションおおがたに関する事 4. 文書の収受・発送に関する事 5. 施設の利用調整に関する事 6. 体育館の所掌する事業の事務に関する事
	地域おこし協力隊	倉品 裕介	<ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツによる地域活性化にかかる活動 2. 生涯スポーツの推進に関する事（副） 3. スポーツ推進委員に関する事 4. スポーツ関係団体の指導育成に関する事 5. スポーツ及びレクリエーションの指導に関する事 6. 各種スポーツ大会の開催に関する事（主） 7. スポーツコミッションおおがたに関する事 8. 体育館事業の情報発信に関する事
干拓博物館	館長	船木 信一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 干拓博物館業務の統括 2. 各種調査研究に関する事
	主任	高橋 真也	<ol style="list-style-type: none"> 1. 干拓博物館協議会委員に関する事 2. 干拓博物館事業に関する事 3. 案内ボランティアに関する事 4. 博物館広報に関する事 5. 生物多様性に関する事 6. ガン・カモネットワークに関する事 7. ジオパーク推進事業に関する事 8. 文化財保護に関する事 9. 干拓史料の保存・整理に関する事 10. 学習活動及び情報の提供に関する事 11. 所掌事務の調査、統計に関する事 12. 所掌事務に関する予算、経理及び決算に関する事 13. その他生涯学習振興に関する事
	事務員	林 信久	<ol style="list-style-type: none"> 1. 干拓史料の保存・整理に関する事 2. 干拓博物館受付業務に関する事 3. 干拓博物館の庶務経理に関する事 4. 文書の収受・発送に関する事 5. その他干拓博物館事業の事務に関する事
	事務員	小山内久美子	<ol style="list-style-type: none"> 1. 干拓博物館受付業務に関する事 2. 干拓博物館の庶務経理に関する事 3. 文書の収受・発送に関する事 4. 干拓史料の保存・整理に関する事 5. その他干拓博物館事業の事務に関する事
	事務員	畠山 咲	<ol style="list-style-type: none"> 1. 干拓博物館受付業務に関する事 2. 干拓博物館の庶務経理に関する事 3. 文書の収受・発送に関する事 4. ジオパーク推進事業に関する事 5. その他干拓博物館事業の事務に関する事

番号	施設名称	電話番号
①	村民野球場	45-2269
②	村民体育館	45-2269
③	多目的グラウンド	45-2955
④	多目的運動広場	45-2955
⑤	サンルーラル大湯	45-3311
⑥	ポルダー瀉の湯	45-2641
⑦	ふれあい健康館	45-2840
⑧	特別養護老人ホームひだまり苑	22-4311
⑨	大湯つくし苑	45-3599
⑩	地域包括支援センター	22-4321
⑪	下水道管理事務所	45-2147
⑫	中学校	45-2330
⑬	小学校	45-2121
⑭	こども園	45-2345
⑮	大湯村B & G海洋センター	45-3198
⑯	村民センター	45-2350
⑰	診療所	45-2333
⑱	保健センター	45-2613
⑲	大湯郵便局	45-2300
⑳	男鹿地区消防署大湯分署	45-2560
㉑	公民館	45-2611
㉒	大湯村役場	45-2111
㉓	大湯村農業協同組合	45-2211
㉔	五城目警察署大湯警察官駐在所	45-2100
㉕	秋田銀行大湯支店	45-2871
㉖	大湯土地改良区	45-2118
㉗	青年会館	45-2611
㉘	J A大湯村ガソリンスタンド	45-2511
㉙	干拓博物館	22-4113
㉚	大湯村産直センター瀉の店	22-4141
㉛	大湯神社	45-2975
㉜	水道管理事務所	45-2310
㉝	大湯村カントリーエレベーター公社	45-2215
㉞	秋田県立大学大湯キャンパス	45-2026
㉟	村民相撲場	45-2269
㊱	村民テニスコート	45-2269

主要施設

gata



○ 大潟村の花・木・鳥

村の花「サルビア」

花いっぱい運動を通じて多くの住区などで栽培されるサルビアは、鮮やかな色彩で集落地内一円に初夏から晩秋まで咲き誇り、生活環境を明るく鮮やかに印象づけます。村民が情熱をこめて村づくりに邁進する大潟村にふさわしい花です。



村の木「黒松」

村内の道路沿い、集落地などに植栽された幼木が風雪に耐え、たくましく成長しました。村を日本海の強風から守る防災の効果とともに環境の美観を高め、村になくてはならない、伸びゆく大潟村にふさわしい樹木です。



村の鳥「白鳥」

満々たる水をたたえた八郎潟に古い時代から毎年渡ってきています。干拓後も残存湖に飛来し、周辺住民からも愛されています。遊泳したり空を飛び交う優雅で格調の高い姿は村民の心をなごませ、大潟村のシンボルにふさわしい鳥です。



大潟村の教育

令和6年6月

発行：大潟村教育委員会

〒010-0443 秋田県南秋田郡大潟村字中央1-21

TEL 0185-45-3240

FAX 0185-45-2661

印刷：(株)八郎潟印刷

大瀧村教育委員会



植物油インキを使用しています。